

昭和二十九年三月刊

史料館所藏史料目錄

第三集

史料館

史料館所藏史料目錄

第三集

目次

凡例

伊勢國射和村富山家文書目錄	一頁
武藏國川越町横田家文書目錄	二九頁
小橋屋平井店文書目錄	四三頁
播磨屋中井兩替店記錄目錄	四九頁
富山家文書解題	五五頁
横田家文書解題	五九頁
小橋屋平井店文書解題	六二頁
播磨屋中井兩替店記錄解題	六四頁

## 凡 例

- 一 本目録は史料館收藏史料目録第三集として伊勢国射和村富山家文書・武蔵国川越町横田家文書・小橋屋平井店文書及び播磨屋中井両替店記録の四篇を収めた。共に近世商家の史料として特色あるもの、その詳細の説明は巻尾の解題に譲る。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、内容項目別に分類排列した。その項目と順位は各文書の内容・性質・数量等によつて適當と思われる項目並に細目分類を試み、大小ゴシック活字及び○印を用いて之を表示した。
- 一 各史料はその含む主要内容に従い所屬の一項目を定めたが、内容が多岐に互り他の項目中にも掲げるを妥當と考えられたものは、\*印を附して重出した。
- 一 史料の記載欄は(一)表題、(二)作成者、(三)作成年、(四)形態、(五)数量、(六)整理番号の順序である。
- 一 表題は原名あるものはこれを探り、その無いものは仮に命名して掲ぐ。この場合括弧( )を施して前者と区別した。
- 一 原表題に国郡村名・干支年月等の肩書ある場合は、適宜これを省略したこともあり、同一内容の一連史料にして表題に多少の異同のある場合は代表的表題に統一表示したものもある。又(控)(写)(下書)等その内容から原名に補註を加えたものもある。
- 一 作成者又は宛名は表題から推知しうるものは之を省略し、特に必要がある場合のみ示した。即ち、富山家文書においては富山与三兵衛、横田家文書に於ては横田次郎吉又は五郎兵衛等はしばしば省略した。
- 一 作成年代は年のみにとどめ、干支・月日は特別の場合を除き省略した。簿冊等の記載期間数ヶ年に互るものは、始終の年を掲げ―を以て継続間を示す。推定年代には括弧を附した。
- 一 史料の形態は一紙(継目の有無に拘らず)又は卷子本などは特殊の場合を除き寸法を省略し、通又は巻をもつて数量のみ示す。冊子・帳簿の類は、横(横帳)、横長(長帳)、美大(美濃大判)、美(美濃判)、美半(美濃半截)、半(半紙判)、半半(半紙半截)等の略称をもつてその原形の大きさを示すにとどめ、墨付枚数は特別の場合の外これを略した。
- 一 地図・絵図類は特殊のもののみ縦横の寸法(糎)を註記し、他は省略した。
- 一 最下欄の数字は各文書毎の整理番号を示す。本史料の照会・閲覧・引用の場合利用されたい。
- 一 末尾に各文書の解題を添えた。

伊勢國射和村

富山家文書目錄

富山家文書目錄目次

支配

領主	一頁
巡見	一
朝鮮人來朝	一
扶持	二
拜領物	二
御用達	三
拜借金	五
雜	六
商業・金融	
店規	六
帳簿	七
江戸店	八
京都店	九

家

大阪店	九
上州店	一〇
小紅屋	一〇
奉公人	一〇
相場	一一
御爲替	一一
金銀引替	一二
貸借	一二
系譜	
相續	一四
吉凶	一六
土地	一七
小作	一七
屋敷	一八

雜

家計	一八
神社寄進	一九
印鑑	二三
日記・書簡	二三
文雅	三五

勢州 富山家文書目錄

支配

領主

志州鳥羽御城主代々控并稻垣様御代之事 (地頭様御代々御名前) 寛永一享保一〇	明和七	一通	三九
土州様御家中方(役名付)		一通	四三
(鳥羽稻垣御家中分限帳)	半	一冊	三七
鳥羽御家中印形帳 富山興三兵衛 明和二	美	一冊	三六
(鳥羽藩御役人役名付取扱振大略)		一通	四九
巡見			
御巡見様御通行之覺 寶永七一寶曆一一		一通	三五
松平和泉守様御巡郷ニ付覺書 (享保一一)		一通	三七
松平和泉守様御巡郷ニ付拵候御膳椀之控 享保一一		一通	三八
(御巡郷御用役割付)		一通	三九
御巡郷御膳部三汗九菜二汗九菜二汗五菜之建并同献立		一通	四〇
享保十二丁未年三月廿五日御止宿稻垣攝津守様御巡郷之覺 富山興三兵衛 享保一一	横長美	一冊	四六

支配 領主 巡見 朝鮮人來朝

享保十二年未三月廿五日稻垣攝津守様御止宿之節献立 享保一一	横長美	一冊	四七
稻垣攝津守様御巡郷道具帳 延享三	横長美	一冊	四九
稻垣和泉守様御巡郷注文帳 寶曆四	横長美	一冊	五一
寶曆四年戌春御休安永二年午春御泊り 竹川氏兩度之節御膳部御献立細記 御巡郷	横長美	一冊	四六
寶曆四戌三月御奉行中様ノ村繼ニテ地頭様御巡郷御定日被仰下候御狀		一通	四八
御料所國々廻見 丑一一月二七日		二通	五五
稻垣對馬守様御巡郷記録 文政一一	横長美	一冊	五五
新井清右衛門・遠藤叟大夫書狀		一通	五五
御巡郷ニ付奉伺候覺 文政一一		一通	五五
鳥羽ヨリ御記シ被下候書付		三通	五七
(殿様御巡郷ニ付準備關係書類)		九通	五八
(御巡郷相濟恐悅廻禮手札并口上書)		一括	五九
朝鮮人來朝			
朝鮮人來朝御用御道具類御親之覺帳 寶曆一一	横長半	一冊	五〇
朝鮮人來朝御用御幕并御道具類書付	横長半	一冊	五一
朝鮮人來朝御用御道具類御屏風書付	横長半	一冊	五一
朝鮮人來朝御用御道具品々覺	横長半	一冊	五二

支配 朝鮮人來朝 扶持 拜領

朝鮮人來朝御用麻御幕看板物注文 橫長半 一冊 三六

朝鮮人來朝御用御道具類御屏風類書付 橫長美 一冊 三五

朝鮮人來朝御用(調度類覺・御荷物番附、貫目附繪符雛形) 橫長半 一冊 三五

朝鮮人來朝御用調度類兩家出シ分調度覺 橫長半 一冊 三五

朝鮮人來朝御用調度類御幕羽織類書付 寶曆二二 一冊 三六

寶曆十三・十四年朝鮮人來朝ニ付赤坂驛御出張御供御役人附 橫長美 一冊 三六

御幕御看板物直段書 橫長半 一冊 三五

御幕類大坂積書 一冊 三五

御幕類京都積書 京店 寶曆二二 一冊 三五

紫御幕代銀附 江戸店 寶曆二二 一冊 三五

朝鮮人御用御幕御注文并御紋本 寶曆二三 一通 三五

鳥羽御用御幕代銀附 大坂店 一通 三五

朝鮮人首尾能被濟七候恐悅并岩三郎初テ被爲召出出務之覺書 一通 三五

琉球國使參府并登營之控 二通 三五

扶持

(松平丹波守様三十人扶持被下置候口達書寫) 享保四 一通 三〇

(拾五人扶持被下御書付) 享保一一 一通 三三

稻垣攝津守様五人扶持御加増御書付 享保一八 一通 三三

稻垣様御扶持米請取控 享保二二・享和三 一冊 三三

橫長美

稻垣様廿人扶持御加増御書付 寬延元 一通 三六

(松平丹波守様御扶持米御渡高覺) 寬延四 一通 三六

地頭様御用金御直書御扶持并御加増控 (寶曆一一年迄) 一通 三〇

拾人御加扶持申達書 寶曆一一 一通 三五

永錄年米參百俵被下御直書并家老申渡寫 寶曆一一 一通 三六

(永祿米御加増願書案文) 一通 三三

(稻垣様御入國以來御用達ニ付御扶持方等委細書上控) 文化二 一通 三五

富山貴八郎鳥羽御扶持方書付 天保一一 一通 三六

(申正月鳥羽表へ貴八郎歎願一件願書控) 四通 三七

永錄米減額申渡ニ付歎願口上書下書 慶應三 三通 三六

永錄米廢止ニ付請書并歎願書 明治二 一通 三六

永錄米收納手當ニ付歎願書類 明治三 五通 三七

鳥羽表へ岩三郎出務之一件 明和七 一冊 三六

橫長美

拜領

松平土佐守様御代々書付淨節改 延享二 一通 四三

(稻垣攝津守昭賢直書) 寬延元 一通 三三

(淨悅様方先代々土州様拜領物覺) 申二月 一通 四五

土州様拜領銀之内借用狀 富山宗五郎 辰二二月 一通 四六

松平左近將監様御代伊馥寺山拜領ノ御書付 享保二 一通 三二

(伊馥寺山略繪圖面) 一鋪 三三





明和七寅年十一月改 帳面寫 (諸御屋敷御用銀高控) 明和七

横長美半 一冊 四一

覺書 (明和七寅八月廿日彦兵衛鳥羽ニ遣ス御月番天野文太夫様御宅ニテ御逢被成下此書付差上) 明和七

一通 三〇

御上納金出方覺 明和七

横長半 一冊 四二

安永八亥四月出府之節覺書 富山貴左衛門 安永八

半 一冊 四三

安永九子七月出府之節覺用書 安永九

半 一冊 四四

安永十五正月ヨリ覺用書 富山貴左衛門 安永一〇

半 一冊 四五

覺書控 富山貴左衛門

半 一冊 四六

(申ノ年鳥羽表御勤方控) 天明八

一通 四七

(酉ノ春 鳥羽表御勤方控) 寛政元

一通 四八

只服橋様御扶持御用向諸屋鋪其外年賦勘定掟寛政四

横長半 一冊 四九

稻垣様御入國前々御用金之細記 富山興三兵衛文化二

一通 五〇

志州御用達金之改寫 文化一〇

一通 五一

鳥羽勤方錄 文政八一嘉永二

横長半 一冊 五二

金子請取證文 稻垣對馬守内大須賀小左兵衛 天保四

一通 五三

唐津金勘定書并書狀

一綴 五四

(松平和泉守様御用金永上ノ節頂載金一件書類) 文化二

三通 五五

(上納金ニ付歎願書控) 富山興三兵衛 子七月

一通 五六

築地様御用金寫

横長半 一冊 五七

鳥羽表ニ御入國以前々御用立金之覺 明治二

半 一冊 五八

松平丹波守様御用金惣勘定 射和金仲間惣代 享保一一 美 一冊 六一

松平丹波守様御用金新改帳 射和村仲間惣代 長井長左衛門外 享保一一 美 一冊 六二

寛延四未三月改 松平丹波守様日光山御用金之控 (享保一二・一三) 横長美 一冊 六三

丹波守様御出入一札下書 札主富山興三兵衛 寛政二 一通 六四

丹波守様へ差上候願書之下書 文化二 一通 六五

松平丹波守様御出入年數・御用達金書付 富山興三兵衛 文化八 半 一冊 六六

土州様御用金御返濟覺書 享保八 横長半 一冊 六七

土州御屋敷勤方控 富山喜左衛門 寶曆一三 半 一冊 六八

諸用控 (御屋敷御役人様中願書控) 明和五一安永四 半 一冊 六九

明和八卯四月出府之節勤方帳 明和八 半 一冊 七〇

(土州様御用金高覺) 登丁目店 安永三・五 三通 七一

土州様御家中年賦金控 安永五 美 一冊 七二

土州御屋鋪勤方控 安永六 横長美半 一冊 七三

土州様音信其他諸屋敷方滯金覺 石町九兵衛 戊一〇月 一通 七四

土州様勤方書狀控 富山喜左衛門 安永・天明・寛政 美 一冊 七五

土州様・地頭様勤方帳富山岩三郎 (寛政一〇・一 一・享和二・三記事アリ) 寛政一〇 横長半 一冊 七六

勤方錄 富山弘孝 天保三 半 一冊 七七

土州様福永源十郎書狀 高山貴八郎宛 天保五 二通 七八

土州太守様御寄御參宮ニ付勤方諸事控 富山貴八郎 美 一冊 四三

天保一〇 土州様諸用事控 嘉永元 横長半 一冊 四三

(土州様代々勤方覺) 二通 四〇九

土州公様且那御勤方 次兵衛高高山敬次郎宛 二通 四二〇

寅年中金銀勘定帳 建部内匠頭様御用金書類ノ内 横長美半 一冊 四三

寶曆八 卯年中金銀勘定帳 建部内匠頭御用金書類 實曆九 横長美半 一冊 四三

建部様御證文之寫 建部内匠頭様御用金書類之内 半 一冊 四四

建部内匠頭内長野九之丞等連判借用證文 明和五 一通 四六

一身田御用勤方帳 文化二二一安政二 横長美半 一冊 四九

(坂内辻原兩御留山仕書請負一件書類) 文政一〇一一天保元 一三通 四〇〇三

紀伊御留山松坂領坂内辻原兩山一件ニ付仲ヶ間 爲取替證文 文政一一 一通 三九

坂内御山代金上納通 天保五 横長美 一冊 四〇

川々道橋御普請御場所控但土州様御役人中務方 并御手紙御口上之寫 横長美半 一冊 四三

御藏米請取通帳 安永三一享和三 横長美 一冊 三六

(御拂米代請取證文) 御勘定所 富山典三兵衛宛 三通 七五

納米高を以年中入用積帳 半 一冊 四九

御屋敷御得意方預ヶ候ニ付一札控共(草稿) 寬政一一 二通 四三

御屋敷御得意方預リ證文寫 富山淨悅、同喜左衛門 宛 享和二 一通 四三

御屋敷様方預ヶニ付爲取替一札寫 富山藤兵衛・ おまん宛 富山与三兵衛 天保五 一通 四四

御屋敷御得意様方預ヶ證文 富山藤兵衛宛 天保五 一通 四五

口上之覺(大和守様一件歎願書寫) 一通 八〇

(申二月御尋ニ付奉申上候覺書控) 一通 三六

(申三月差上候口上書并片附方覺書控) 二通 三九

拜借金

(拜借金歎願書控) 享保一六 一通 七五

下書(銀二百貫拜借歎願書) 寬政一〇 一通 四六

(歎願書控) 富山淨悅 寬政一〇 一通 四七

(口上之覺) 富山御救一件 寬政一〇 一通 四八

土州様差出候控 天保一一 横長半 一冊 四五

土佐國へ貴八郎持參相願可申下書 天保七 一通 四七

土州様差出候願書控 富山貴八郎 天保一一 一通 四九

(土州様拜借金願書控) 富山貴八郎 弘化二 一通 四〇

(紀州家館入之由緒口上覺) 天保四 一通 三七

手控(紀州家へ助成願) 天保一一  
紀州家拜借金利息ニ付願書控 末一一月  
一通 三六

雜

尾張宰相宗勝卿書狀 松平左近將監宛 八月  
一通 四五

野呂喜太夫・間宮幸太夫連判借用證文 享保九  
一通 四五

吉川左京様御役人中様へ御使者來候面談之控  
享保一一  
一冊 四五

稻垣甚左衛門同弥惣左衛門連署書狀 寛政一一  
一通 元九

(與三兵衛初御目見得ニ付村繼狀) 一一月  
一通 四九〇

松平英之助様年賦金請取寫  
一冊 四八

於会所御奉行中口達之覺 享和三  
一通 三八

大岡越前守様辻駕籠御免許之札 享保一〇  
一葉 七九五

享保十二年未二月御奉行所へ願書寫(海陸荷  
物一箇一錢ノ上錢并新錢座之願)  
一冊 四二

(大賄方權右衛門絶家ニ付町惣代等數願書)  
一通 七五

大賄方當座帳 文政八  
一冊 六八

大賄方當座帳 文政九  
一冊 六九

大賄方當座之覺 文政一〇  
一冊 七〇

富山差引大賄口  
一冊 七二

大賄方出入差引渡覺 午一一月  
一通 七三

本家差引勘定帳 嘉永元  
一冊 七四

(町々一札改印形請書) 寶曆七  
一通 八三

繪圖

(射和古圖) 寶曆頃  
一鋪 六六

(射和水道圖)  
一鋪 六六

(射和畑繪圖) 寛保元  
一鋪 六六

(伊馥寺山明治六年檢地繪圖控)  
一鋪 六六

商業

店規

慎(訓誡書)  
一通 八〇

(與三兵衛定恒訓誡書)  
一通 八四

覺 享保一一  
一冊 三六

元方役格式申付候書付 享保二一  
一冊 三六

元方役掟書寫  
一通 六七

元方役祝儀并賄料覺 定敬自筆  
一通 六六

銘々賄高相定書 富山伊右衛門外四名 享保二一  
一通 六八

\*覺(年中賄方員數ノ事) 享保二一  
一通 七〇

賄高之定書寫 定敬自筆  
一通 七五

熟談之定書 寶曆七  
一冊 三三

(江戸後見役書狀) 寶曆七  
 諸店に申遣候之狀控 安永二  
 口上之覺 安永二年諸店主人名前改候ニ付大坂店々之口上  
 店仕法之事 (多兵衛退役ノ事他)  
 一通 三三  
 一通 三四  
 一通 三五

帳簿

大福帳・羽書仕入帳 元和一〇 美 一冊 六四  
 足利帳 定弘 元和二一寛永一七 美 一冊 一五  
 寅年他國之分 定弘 寛永一五 横長美 一冊 一六  
 大福金銀帳 富山長左衛門 延寶九一享保 美 一冊 一六  
 萬歲帳 富山長左衛門 元祿八一寛政九 横長美 一冊 一七  
 大福帳 富山 寶曆三一六 美 一冊 一八  
 (萬治三年子ノ八月吉日算用之目錄) 萬治三 一冊 一七  
 丑ノ八月吉日算用帳 寛文元 横長半 一冊 一七  
 寛文貳年寅歲算用帳 寛文二 横長美 一冊 一七  
 寛文三年卯八月吉日惣算用之日記 寛文三 一通 一七  
 (惣算用目錄) 延寶四一寶永八 横長半 一冊 一七  
 (惣算用目錄) 正徳二一五 横長半 一冊 一七  
 (享保十四年秋ノ同廿年秋迄惣目錄控) 享保二〇 横長半 一冊 一七  
 享保廿年卯十二月差出勘定目錄寫 享保二〇 横長半 一冊 一七

\*覺(自元和元年至正徳四年商内高書拔(淨有遺書之内)  
 \*寛永十四年ヨリ寶永五年迄時々有金高控  
 \*貞享三・元祿十五・享保五年店々利帳ハ高控  
 一通 三三  
 一通 三四  
 一通 三五

江戸兩店并大阪兩店目錄算用仕法之控 10×17 一冊 五五  
 諸店春秋目錄之節正味勘定書差越候口立之記 横長美 一冊 五五  
 寶曆二三  
 諸店目錄書貫 延享五 横長美 一冊 五八  
 卯春諸方步拂書拔 本店 寶曆九 横長美 一冊 五九  
 戊子穰勘定目錄諸書拔 明和六 横長美 一冊 五〇  
 文化十四年より津射和爲登指引勘定帳 富山弘次郎 横長美半 一冊 五二  
 勘定覺(淨源様御自筆年中勘定物高ノ内) 寶永五 一通 一七  
 寶永五年子ノ春ノ覺(〃) 一通 一六  
 預金之覺 享保廿卯年極月廿九日夕於下宅内寄合之節 横長半 一冊 三三  
 出候都合五冊ノ内大切ノ勘定控 享保二〇 横長半 一冊 三三  
 (預リ金覺) 辰春 横長半 一冊 三三  
 金銀差引覺 卯春 横長美 一冊 三三  
 出銀覺(斷片) 横長半 一通 三三  
 手形控 富山市郎右衛門 横長半 一通 三三  
 (差引目錄控) 子・丑・寅分 横長半 一通 三三

五年未年迄金銀入拂惣勘定目録(十一冊ノ内)  
富山市郎左衛門

横長半 一冊 三三

明和五年戊子九月戊子春勘定目録書拔  
江戸本町二丁目店

横長美 一冊 五〇

預リ金目録(〃) 富山市郎左衛門

横長半 一冊 三三

文化八未春目録 呉服町店

横長美 一冊 五二

貸シ金請込分新古ノ仕分(〃) 富山市郎左衛門

横長半 一冊 三三

文政二年卯春目録 呉服町店

横長美 一冊 五三

神社佛閣祠堂預リ書拔(〃) 富山市郎左衛門

横長半 一冊 三七

文政二卯穰目録 呉服町店

横長美 一冊 五三

金銀借シ并家屋鋪畑代正有金目録(〃)

横長半 一冊 三六

文政三辰春目録 呉服町店

横長美 一冊 五四

年々自分遣目録(〃)

横長半 一冊 三九

呉服町店借財控 天保一〇  
申年分商内高 江戸店

横長半 一冊 五九

江戸店

貞享四年卯二月江戸兩店算用目録帳(貞享三秋)

横長美 一冊 五〇

江戸兩店諸覺 元文四未歲魯風  
戊年十一月諸用控 江戸店

横長半 一冊 五六

貞享三寅八月江戸家賃并借シ金目録控  
(貞享三春)

横長美 一冊 五〇

(江戸呉服町店由來記) 定豪 未十一月

半 一冊 五七

貞享四年卯二月江戸家賃并借シ金目録控 貞享三

横長美 一冊 五〇

江戸兩店宿持別宅中連名々前 明和二

一冊 五三

貞享四年卯八月江戸兩店算用目録(貞享四春)

横長美 一冊 五〇

江戸別宅烈并商賣居所之控 明和四

一通 五二

貞享四年卯八月江戸家賃并借シ金目録控  
(貞享四春)

横長美 一冊 五〇

明和安永頃江戸兩店名前

一通 五四

享保五庚子歲二月廿六日江戸兩店子春算用目録  
享保五

横長美 一冊 五〇

江戸別宅治兵衛身元之控

一通 五五

酉秋金銀下目録 寛保二

横長美 一通 五二

(江戸本町一丁目繪圖)  
享保五年以後同一〇年以前

一鋪 五二

丑春家賃并利足目録

横長美 一冊 五〇

(江戸本町一丁目二丁目繪圖) 享保一六頃

一鋪 五六

小拂仕分 午八月新店

横長美 一冊 五〇

(江戸本町一丁目繪圖)

一鋪 五三

(横山町三丁目店讓リ主名前書)(京店所在地  
ヲ記ス) 寛延二

横長美 一通 五三

(江戸本町一丁目繪圖)

一鋪 五四

明和五年戊子四月亥穰金銀出入 江戸本町二丁  
目店

横長美 一冊 五九

(江戸通町室町三丁目繪圖)

一鋪 五五

本店・石町一丁目新店・本町三丁目東家・西家  
銀座三丁目 指圖 正徳五

大工町家指圖 享保一六

金吹町家指圖 享保一六

京橋家指圖 享保一六

本町三丁目家指圖 享保一六

室町三丁目家指圖 享保一六

本石町壹丁目東家西屋指圖 享保一六

本町壹丁目東家西家指圖 享保一六

江戸地屋敷八ヶ所直段付并相讓候直段控 明和

本店指圖 享保一六

本町二丁目本店圖

(本店指圖) 享保一六

(本町店指圖)

二階并屋根水取繪圖 享保一六

本町一丁目二階圖

本町一丁目二階

京 都 店

貞享三寅年八月京都秋算用目錄之覺 (貞享三春)

貞享四卯年正月京都算用目錄之覺 (貞享三年秋)

貞享四

京都算用目錄覺 (貞享四春) 貞享四

六冊 五七

一冊 五六

一冊 五九

一冊 六〇

一冊 六一

一冊 六二

一冊 六三

一通 六四

一冊 六五

一冊 六六

一冊 六七

一冊 六八

一冊 六九

一冊 七〇

一冊 七一

一冊 七二

享保六年丑春京伊勢爲替指引書子益役金銀請取  
寶曆元辛未歲十二月京都算用目錄

\* (横山町三丁目店讓主名前書) (京都店所在地ヲ  
記ス断片アリ) 寛延二

京店普請圖 惣左衛門持參

京店諸用留 附リ諸算法之控

大 阪 店

(大坂兩店創立年代調) 大坂字兵衛々書付

(大坂嘉右衛門追憶覺書)

元祿十六未春大坂具服店算用目錄 元祿一六

延享三年寅極月大坂兩店名前覺書

(元祿、寶永、享保) 延享四

大坂兩替店目錄 寶曆八寅秋

寶曆一四申春大坂兩替店目錄 貸附高古借高算  
用覺書

大坂店午秋算用目錄 安永三

大坂店午秋在金銀并貸借書拔 安永三

大坂店午秋賣高書拔 安永三

大坂店酉春算用目錄 安永六

大坂店戌秋算用目錄 安永七

大坂店戌秋賣高書拔 安永七

大坂店申秋算用目錄 安永五

大坂店申秋金銀并貸借書拔 安永五

一冊 五〇  
一冊 五九  
一通 五三

一冊 五九

一冊 五三

一冊 六三

一冊 六三

一通 五七

一通 五七

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

一通 五三

大坂店申襖賣高書拔 安永五

橫長美

一冊 五三

上州店

(元祿二巳上州算用目錄) (元祿元) 元祿二

橫長美

一冊 五二

(元祿三上州算用目錄) 元祿三

橫長美

一冊 五三

(元祿五申上州算用目錄) (元祿四) 元祿五

橫長美

一冊 五四

(元祿八亥上州算用目錄) (元祿七) 元祿八

橫長美

一冊 五四

上州算用覺 元祿九子年上州里右衛門方入用控  
元祿九

橫長美

一冊 五五

上州春秋勘定目錄 上州店 寶永四亥

橫長美

二冊 五四

上州春秋勘定目錄 上州店支配 次郎左衛門 正徳一

橫長美

二冊 五〇

上州春秋勘定目錄 次郎左衛門 正徳三

橫長美

二冊 五八

上州春秋勘定目錄 次郎左衛門 正徳四

橫長美

二冊 五九

上州丑春秋勘定目錄 上州店支配 源助 享保一八

橫長美

二冊 五〇

上州寅春秋勘定目錄 上州店支配 源助 享保一九

橫長美

二冊 五一

上州卯春秋勘定目錄 上州店支配 源助 享保二〇

橫長美

二冊 五三

上州店勘定目錄 寬保二壬戌春 上州店支配

橫長美

一冊 五三

源兵衛小兵衛 寬保貳壬戌秋 上州店支配

橫長美

一冊 五四

上州藤岡店圖

橫長美

一冊 六四

上州店繪圖

橫長美

一冊 六五

上州店普請之繪圖 元文二

橫長美

一冊 六六

燒失後上州店繪圖

橫長美

一冊 六七

(燒失後上州店指圖)

(指圖)

小紅屋

(小紅屋商内高覺) 自文政二年至天保五年

橫長半

一綴 五三

天保三卯年商内高之控 小紅屋 天保三

橫長半

一冊 五八

天保六未秋勘定目錄 小紅屋 天保六

橫長半

一通 五四

(小紅屋勘定書類)

橫長半

一綴 五五

土藏塗替店普請諸入用 小紅屋 天保五

16 x 22

一冊 五九

小紅屋看板注文并見積書

橫長半

一綴 五六

天保一〇年亥五月小紅屋讓渡控 天保一〇

橫長半

一通 五七

使用人

覺書 (諸方店々人別數) 淨有遺書之内

半

一通 三八

諸店支配退役覺 元文二丁寶曆七

半

一冊 五七

覺 (江戸兩店并上州店人別、商賣、帳面、相場等)

橫長美半

一冊 五七

大阪店午秋役付并人別増減書拔 安永三

橫長美半

一冊 五六

大阪店若千衆取替書拔 安永三

橫長美半

一冊 五九

大阪店申襖役付并人別増減書拔 安永五

橫長美半

一冊 五三

大阪店申襖若千衆取替書拔 安永三

橫長美半

一冊 五三

大阪店申襖若千衆取替書拔 安永三

橫長美半

一冊 五三

大阪店戌秋役付并人別増減書拔 安永七

橫長美半

一冊 五六

大坂店戌秋若千衆取替書拔 安永七

橫長美半

一冊 五九



申春申秋若干衆取書  
諸職人直段并看板控  
御召并諸看板諸職人直段控 天保一

橫長美半	一冊	五八
橫長半半	一冊	五九
橫長美半	一冊	六〇

相場

心覺書（綿値段、米作、白味噌、薪等）  
唐物類、板物類、關東物糸類、諸品入方目方等之控

半	一冊	七九
20×25	一冊	七八
15×22	一冊	七九
25×23	一冊	八〇

京代口物相場附 享保一四  
京代物相場附ケ 延享三  
京代口物相場附ケ

20×25	一冊	五九
15×22	一冊	五七
25×23	一冊	五六

京店仕入物仕法之留 附リ載物ノ控 明和五、六  
具服物相場書覺 寅秋

橫長半半	一冊	五九
20×25	一冊	五九

御爲替御用

甲府様御爲替請負家質預リ證文 富山長左衛門宛 本町三丁目 元祿一一

富山長左衛門宛	一通	六〇
---------	----	----

和州作州御代官所御年貢金銀爲御替請負證文（寫） 大黒屋九兵衛 寶永二

大黒屋九兵衛	一通	六三
--------	----	----

和州作州御代官所御年貢金銀爲取替請負證文控 富山喜右衛門 寶永三

富山喜右衛門	一通	六三
--------	----	----

西丸様御爲替請負申家質差上申候様子口上書控 喜左衛門手代藤兵衛 寶永三

喜左衛門手代藤兵衛	一通	六三
-----------	----	----

御上納爲替覺（御爲替十人組中川殿等御用方讓度一條ニ付勤方家質高十人組人數等之書付） 享保九

享保九	一通	六四
-----	----	----

御爲替御用初メ之家質 富山八郎右衛門同又左衛門 享保九  
御爲替御用人覺（御爲替御用人付并勤方格式等之書付）  
（御爲替十人組御目見得献上物之覺）寶永三十一元文三

富山八郎右衛門同又左衛門	一通	六五
御爲替御用人覺	一通	六六
（御爲替十人組御目見得献上物之覺）	一通	六七

享保十年同十二年元文四年御爲替家質差上候高ノ控并十人組三井組家質高 元文四  
御爲替御用方覺帳 富山典兵衛 享保一〇—元文四

享保十年同十二年元文四年御爲替家質差上候高ノ控并十人組三井組家質高	一通	六三
御爲替御用方覺帳	一冊	六四

定歡御爲替御用蒙仰年頭御目見之節御役人様方御禮之控（年頭御禮順割覺） 享保一一  
銀座三井に臨時御爲替御用ニ付十人組存寄書 谷口勘左衛門 元文元

定歡御爲替御用蒙仰年頭御目見之節御役人様方御禮之控	一通	六八
銀座三井に臨時御爲替御用ニ付十人組存寄書	一通	六九

三井に臨時御爲替御用ニ付十人組願書控 元文元  
（三都役所名代名前付）  
御用控（御爲替方勤方細記、文字金銀吹替所一件） 元文元

三井に臨時御爲替御用ニ付十人組願書控	一通	六〇
御用控	一冊	六一

御爲替四組被召出被仰渡寫并御請書寫 明和元  
御爲替御用退役願書寫 富山忠四郎 明和二  
仲ヶ間立替銀預リ證文寫 富山忠四郎 明和二

御爲替四組被召出被仰渡寫并御請書寫	一通	六三
御爲替御用退役願書寫	一通	六四
仲ヶ間立替銀預リ證文寫	一通	六五

十人組へ家質御下被下候上沽券證文相渡可申一札之寫 富山忠四郎 明和二  
仲ヶ間に差出候書付之寫 富山忠四郎 明和二

十人組へ家質御下被下候上沽券證文相渡可申一札之寫	一通	六六
仲ヶ間に差出候書付之寫	一通	六七

於會所仲ヶ間中へ被渡返答并仲ヶ間へ差出候書付寫 富山忠四郎 明和二  
三井氏御爲替金濟方差略ニ付夫々證文之寫 天明六 半

於會所仲ヶ間中へ被渡返答并仲ヶ間へ差出候書付寫	二通	六八
三井氏御爲替金濟方差略ニ付夫々證文之寫	一冊	六九

江戸御金藏上納金御爲替預リ手形 富山喜左衛門 享保三

江戸御金藏上納金御爲替預リ手形	一通	七四
-----------------	----	----

江戸御上納金御為替預リ手形 富山喜左衛門宛 享保三 一通 七五

江戸上納金御為替預リ手形 富山喜左衛門宛 享保六 一通 七六

引替御用

引替御用方覺帳 元文元一三 18×9.5 一冊 六四

古金銀吹替ニ付覺并密書控 元文元 一通 六九

引替場當番役割書 御為替兩組 (元文元) 一通 六〇

古金引替文字金増歩之定書 (引替場張紙) 一枚 六三

(古金銀量目覺) 一通 六五

(文字金銀引替高案内高) 元文二 13.5×17.5 一冊 六三

(文字金銀三都引替高調) 元文二 一通 六四

引替所飛仲間之控書 元文二 一通 六五

谷に積金并溜り銀配分之事 (引替會所仕舞方并抱手代褒美ノ事) 元文三 一通 六五

(京都大坂金銀引替高調) 元文三 一通 六六

(大坂引替所引替高覺) 元文三 一通 六七

(文字金銀引替高覺) 元文三 一通 六八

案文控 (手形案文控) 明和六一天明七 一冊 六四

貸借

金子借用證文 富山七左衛門ノ伊右衛門宛 一通 六一

金子借用證文 庄屋重右衛門等 元祿六 一通 七〇

金子借用證文 庄屋十右衛門等 元祿六 一通 七八

金子借用證文 富山半左衛門 寶永七 二通 七九

金子借用證文 大黒屋九左衛門 寶永七 一通 七〇

金子借用證文 富山七左衛門 正徳三 一通 七二

借用金子濟口證文 長井半左衛門 正徳六年 一通 七三

金子借用證文 山田淨閑寺 享保五・六 二通 七四

金子借用證文 長井四郎右衛門 享保六 一通 七六

干鯛仕入金借用證文 松屋仁右衛門 享保六 一通 七五

金子借用證文 辻藤助 享保一〇 一通 七五

金子借用證文 庄屋彌右衛門 享保一一 一通 七三

金子借用證文 庄屋彌右衛門 享保一二 一通 七三

金子借用證文 富山源三郎 享保一二 一通 七四

金子借用證文 竹内孫右衛門 享保一四 一通 七六

金子借用證文 富山弥右衛門・弥兵衛 享保一六 一通 七九

銀子借用證文 富山三左衛門 享保一八一〇 四通 七五

金子借用證文 富山甚九郎 元文二 一通 七九

金子借用證文 忠右衛門 元文三 一通 七三

銀子借用證文 富山三左衛門 元文六 一通 七五

金子借用證文 富山三左衛門 延享三 二通 七六

銀子借用證文 富山三左衛門 寬延三 一通 七七

金子借用證文 千原彌三右衛門 寶曆三・四 三通 七七

金子借用證文 伊藤典四郎 寶曆四 一通 七三

金子借用證文	楠林六右衛門	寶曆六	一通	七五
銀子借用證文	富山三左衛門	寶曆一一	一通	七六
金子借用證文	福井勘右衛門	天明元	一通	七六
金子借用證文	芝原三右衛門	天明六	一通	七六
金子借用證文	富山彌三八	天明八	一通	七六
金子借用證文	松田豊前	天明九	一通	七六
金子借用證文	里鷲斎	寛政一〇	二通	七六
金子借用證文	長井助左衛門	文化一四	一通	七六
金子借用證文	富山忠兵衛	文政四	一通	七六
金子借用證文	射和村肝煎武助等	文政七	一通	七六
金子借用證文	阿波曾村善兵衛	文政七・八	三通	七六
金子借用證文	大和屋龜次郎	文政一一	一通	七六
金子借用證文	次右衛門	文政一一	一通	七六
金子借用證文	射和屋利右衛門	文政一一	一通	七六
金子借用證文	射和村百姓惣代孫四郎等	文政一二	一通	七六
金子借用證文	星合爲右衛門	文政一三	一通	七六
金子借用證文	千賀八左衛門	天保元	一通	七六
金子借用證文	千賀八左衛門	九月廿一日	一通	七六
金子借用證文	龜次郎	天保八	一通	七六
金子借用證文	稻垣九郎兵衛	戊九月廿八日	一通	七六
利足金請取證文	稻垣外記	明和五・六	二通	七六

預金元利請取證文	稻垣外記	未十二月	一通	七六
鯉屋吉兵衛の金子預り證文控	明和七・八寛政一一		四通	七六
鯉屋吉兵衛請取證文			三通	七六
天明四年辰十二月迄鯉屋御店年賦金渡シ控帳	天明四一寛政二		一冊	七六
(鯉屋の金子借用證文寫)	天明、寛政		一通	七六
金子預り證文控	岩出市兵衛宛	明和六	一通	七六
淺井孫右衛門の金子借用證文	利足金請取一通共		四通	七六
富山與三兵衛	安永元・六、明和六		半	
丹波屋善兵衛一件	明和七		一冊	七六
(藤堂和泉守借用狀寫)	今井五左衛門宛	安永二	一通	七六
寛政五丑夏岡山氏金子年賦濟口の相談書	八郎次		一通	七六
(辻市郎右衛門の借用金内濟證文)	與三兵衛代又		一通	七六
一宛 享和元			七通	七六
(彦介惣次郎借金一件書類)	文化八		一通	七六
(神戸田中久左衛門皆濟手形)	文化九		一通	七六
今井源太郎殿指引書	文政七カ		一通	七六
富山與三兵衛殿金銀取引指引帳	今井源太郎		一冊	七六
文政一一			橫長半	
今井源太郎殿差引覺			一冊	七六
竹川金助宛金子借用狀	文政五・六		二通	七六
(竹川彦兵衛等の借用金濟方見積書)	嘉永五		半	
竹川氏の差引一件諸記	與兵衛出府繁之助返答寫		一冊	七六
安政一一			半	

別宅惣兵衛在世中預ケ置候金子一件之筆記寫 一通 七九〇  
 拜借金ニ付誤リ一札 彦助々富山與三兵衛宛 明治五 一通 七七  
 借用金證書面文之控 明治八・九 一冊 二六三  
 (淺井預ケ金皆濟條約證) 明治九・一〇 二通 七五  
 爲取換約定書 嘉永七年差入置證書類共 竹川竹齋 三通 七八  
 明治二一 一冊 二六三  
 與兵衛在世中悉皆調 明治一〇 半 一冊 二六三

家

系譜

富山一家系圖 一卷 一  
 富山系圖 元祿九 一卷 三  
 富山氏系圖古軸之寫 元祿一〇頃 一卷 二  
 清和天皇六人王子ヨリ系圖 寶曆八 一卷 四  
 富山系圖 天保九 一卷 五  
 富山氏系圖寫 天保九 一卷 六  
 富山氏精進日寫 天保九 一卷 七  
 富山一家親類縁家始リ銘々家略系圖記(富山一族、磯田氏、大黒屋、竹川氏、伊豆藏氏、家城氏、長井氏、川村氏等) 一三綴 一四  
 (畠山并富山系圖) 一通 一五  
 過去帳 元祿一二迄書繼 16×9 一帖 九  
 (富山本家古過去帳) 寶永四迄書繼 16×9 一帖 八

過去帳 寛延迄書繼 16×9 一帖 一〇  
 過去帳 文化八迄書繼 16×9 一帖 一一  
 過去帳 寛文一寶曆一〇迄書繼 16×9 一冊 一一  
 過去帳 文化八迄書繼 16×9 一冊 一二  
 (延寶九年淨信以來代々往生年目錄控) 享保一四 一通 一〇四  
 先祖代々御年忌控 寶曆五 24×19 一冊 一〇  
 (年忌調) 横長半 一冊 一一  
 伊馥寺へ齋米并ニ内ニテ祥月靈膳之覺 嘉永六 一通 一三  
 毎月并祥月靈膳之控并齋風呂等ノ控 一通 一六  
 惣位牌日牌月牌之寫 享保一八 一通 一七  
 先祖代々年數并伊馥寺弘道寺祠堂百萬遍勤行ノ控 元文元迄 一通 一六  
 先祖代々兩親誕生年號 一通 一九

相續

本代仕分之覺(元祿十四巳正月吉日淨仙様、淨源様御書置) 元祿一四 一通 一七  
 (淨源示教草稿) 寶永五 一通 一五  
 江戸石町屋敷名代讓證文 富山喜左衛門宛添狀 一通共 寶永七 三通 一六  
 一札 (御書置拜見ニ就而申合廿五ヶ條) 享保六 二通 一八  
 定書 富山與三兵衛外四名 享保七 一通 一九

本代書 享保一三 一通 一八〇

覺書(享保十三申十一月廿三日與物兵衛殿方ニ而  
會談之節申談候趣書記寛保三年改封) 享保一三 横長半 一冊 三七

覺書(享保十四酉四月會談之節指出候覺書寛保三  
年改封) 享保一四 横長半 一冊 三八

書置一札之事(富山淨有遺書ノ内) 酉十月晦日  
享保一四 一通 一九

御先祖様ニ三軒家ニ本代譲リ淨有存念配分書  
享保一四 一通 二〇〇

覺(本代割改ニ付存入) 一通 二〇五

覺(淨信様以來代々勤功之覺) 一通 二〇六

覺(長左衛門ト不和一條) 一通 二〇九

覺(喜左衛門關係ノ事) 一通 二一〇

覺(元和元年ヨリ正徳四年迄商内高書拔) 一通 二一三

(貞享三、元祿一五、享保五年店々目錄書拔) 一通 二一三

\*覺書(諸方店々人別數ノ事) 一通 二一八

覺(享保廿一年辰正月定年中賄方員數ノ事)  
享保二一 一通 二二七

覺(本代割ニ付淨有存念書) 十二月 一通 二〇一

淨有様七通御書付之寫 半 一冊 三二

淨有様ニ書付之内拔書 半 一冊 三五

持護定(家法書證文) 享保二〇 一通 一九

九ヶ條之神文血判證文 享保二〇 一通 一九〇

川村宗壽老々名跡送り證文 享保二〇 一通 一九一

河村佐次兵衛ニ次郎左衛門名前分不殘引請證文  
享保二〇 一通 一九五

川村治郎左衛門ニ同名佐次兵衛ニ萬事讓證文  
享保二十卯十一月會談之節 享保二〇 一通 一九三

仲ヶ間ニ出候淨有存知入書(三冊之内) 享保二〇 半 一冊 三三

仲ヶ間ニ出候仲ヶ間遣ノ存入書(享保廿卯十一月會  
談之節仲ヶ間ニ出候淨有存知入書三冊之内) 享保二〇 半 一冊 三三

仲ヶ間ニ出候存入書(享保二十卯十一月會談之節  
仲ヶ間ニ出候淨有存知入書三冊之内) 享保二〇 半 一冊 三四

店々ニ神文 享保二〇 二通 一八三

神文(三井井名前ノ者起請文) 享保二一 一通 一八四

淨有存念之趣善右衛門ニ申合心得ニ而物語致候  
覺書 元文五 横長半 一冊 二九

伊左衛門ニ差出候覺書 元文五 横長半 一冊 三〇

伊左衛門上京ニ付本代譯淨有存念之趣京都ニ而  
伊左衛門殿ニ相談之書付控 寛保元 横長半 一冊 三三

(富山伊左衛門定重誓約神文) 寛保元 一通 一九四

謹書(三軒家兄弟親睦ノ起請文) 寶曆五 一通 一八八

誓書(定恒、定寛、定榮連判) 安永二 一通 二二九

岩三郎家督申渡之書付 安永四 一通 三三七

敬次郎養子願控 文化九 一通 四〇〇

與三兵衛鳥羽出勤敬次郎養子願書下書 文化九 一通 三六六

敬次郎家督被仰付申達書 一通 三三〇

(喜左衛門養子貴八郎御目見得許可書) 文政四

一通 四三

京都留主居所に差出候願書控 富山喜左衛門 文政四

一通 四二

(土州様願之儀下書) (貴八郎家督讓願) 富山喜左衛門 天保二

一通 四六

江戸店手代書狀 (貴八郎様土州様御目見得御禮云々) 十月

一通 四四

(貴八郎口上書) 天保九カ

一通 四二

貴八郎家督被仰付候節御口達書并諸書付 天保九

四通 三九

喜左衛門隠居、貴八郎家督相續免許達書・二月

二通 四三

貴八郎家名相續ニ付歎願書(控) 鳥羽藩御奉行所宛 天保一〇

一通 四六

(鳥羽に御召ニテ於會所被仰渡候書付初度寫) 天保一二

一通 四五

富山與三兵衛實家へ差戻仰付御達書 天保一二

一通 四六

富山貴八郎祖母に申聞候内願口上書(控) 天保一二

一通 四七

(貴八郎御預々被仰付御請書下書) 天保一二

一通 四六

(貴八郎親類預々一件覺書) 天保一一―一五

一冊 四九

貴八郎親類預々申渡書(寫)

一通 三三

民三郎家督仰付候書付

一通 三三

富山家一條愁訴寫 富山繁之介 安政四

一冊 四〇

富山家取締申談一件手控 萬延元

一冊 三七

富山繁之助書簡 貴八郎宛

一通 四三

(富山與兵衛入籍願書類控) 明治五

一冊 三九

富山國助改名願書并富山てい女戸主願書 明治一六・一八

二通 三七

戸籍簿寫 富山與三兵衛、竹川彦左衛門、長井なを

三通 三六

(定豪遺言) 岩三郎宛 文化二二

一通 三五

定寛室麗遺言并遺物覺 文化五

四通 三五

(淨圓遺物覺) 寶曆七

一冊 八三

(長持入記) 萬延

四通 八四

(預々品物類控) 安政・萬延

一綴 八六

吉 凶

與三兵衛四十二除厄祝儀覺帳 寶曆一一

一冊 八三

(圓譽宗固往生記) 天明元

一冊 八九

善女縫往生傳 天明元

一冊 八九

富山氏淨海法子往生記 享保三

一冊 八八

養子縁談并入家一件浦内祝言覺帳 文化八

一冊 八三

(敬次郎浦祝言書類) 文化九一一

七通 八七

富山弘晟家督祝儀帳 文化二二

一冊 八四

於江戸本店貴八郎元服祝儀覺帳 天保二

一冊 八五

富山貴八郎弘考家督被仰付役儀被仰付候節祝儀帳 天保九

一冊 八六

年中行事帳 富山本家 寛政一文化

一冊 八四

嚴法改革年中行事并出入之勘定居屋敷取調帳 萬延一

一冊 三七

(正月着到帳)

日用勤行覺

橫長半 一冊 六三

土地

萬屋敷田畠帳 富山長左衛門 延寶四

美 一冊 六三

屋敷田畠覺帳 享保一三

美 一冊 六五

新畑田成畝歩内檢帳 戊二月改

橫長半 一冊 六四

成年新田成有坪控

美 一冊 六七

田畑覺 天保一三

美大 一冊 六六

屋敷田畑控 富山與三兵衛 安政四

美 一冊 六六

抱屋鋪并畑書拔

美 一冊 六九

村方取建之寫 安政四—明治四

半 一冊 六〇

屋鋪田畑山林藪地實地檢反畝歩番號字名等御改

半 一冊 六一

又代價付ヶ縣廳江御届ヶ書寫 明治六

半 一冊 六一

(舊來御圖帳畝高村高番號此度村方ニ而檢地御改畝歩新番號寫) 明治六

半 一冊 六一

屋鋪田畑地券控 小作宛方改控 明治一〇

美 一冊 六四

地所反別控 明治一三

半 一冊 六六

地券 富山與三兵衛 明治一六

一枚 六七

土地賣買

宮前上地永代賣渡證文 新三郎方富山長左衛門宛 元和八

一通 七三

島地賣買證文 河原町新三郎方富山長左衛門宛 延寶五

一通 七四

島地賣渡證文 家城次郎兵衛方富山長左衛門宛 延寶五

一通 七五

上島賣渡證文 伊覆寺中鍛宿院方富山長左衛門宛 天和元

一通 七六

畑地賣渡證文 九左衛門方富山半左衛門宛 正徳四

一通 七〇

畑地賣渡證文 竹川彦兵衛方富山與惣兵衛宛 正徳五

一通 七二

畑地賣渡證文 半兵衛方富山市郎左衛門宛 享保元

一通 七三

田地賣渡證文 川村平左衛門方市郎左衛門宛 享保三

一通 七三

田地賣渡證文 五郎兵衛方伊覆寺清淨軒宛 享保六

一通 七九

田地賣渡證文 多兵衛方富山平兵衛宛 享保六

一通 七七

田地賣渡證文 眞樂寺方富山市郎左衛門宛 享保一〇

一通 七二

田地賣渡證文 村川太左衛門方富山市郎左衛門宛 享保一五

一通 七五

田地賣渡證文 家城甚助方富山市郎左衛門宛 享保一六

一通 七〇

日ノ本畑寄進請文 富山市郎左衛門 享保一七

一通 七三

屋敷田畑替地賣讓之覺 借地證文寫一通添 享保

半 一冊 六〇

富山與兵衛所有地賣却代價金賣立ノ記 明治九

半 一冊 六六

小作・年貢

借地證文 富山與三兵衛宛 安政二

一通 七四

小作方取調之帳 安政四

一冊 六八

宛作帳 明治七

一冊 六一

宛作帳 明治八

一冊 六二

小作取米帳 明治八

一冊 六三

宛作記 明治九

一冊 六四





金銀出入通	坂内辻原仕出シ方	文政一—天保三	橫長半半	一冊	二五〇
萬之控	天保三		16×7.5	一冊	二五〇
覺	天保六		20×9.5	一冊	二五〇
(諸雜用差引勘定書)	文政元—天保六			綴	二五
積金講掛金請取帳	天保一〇		橫長美半	一冊	二五
金銀請取帳	竹川宛 富山 天保一〇		16.5×13	一冊	二五
本家差引勘定帳	(宗家經濟記) 嘉永元		美	一冊	二六四
金銀請取帳	嘉永三—明治一		橫長美半	一冊	二六
差引勘定帳	富山本家 安政四		橫長半半	一冊	二六
金銀出入差引帳	安政四—明治元		橫長半	一冊	二六
金銀出入帳寫	安政七—明治四		橫長半	一冊	二七
取調帳	富山本家 明治元		橫長半	一冊	二七
(射和村富家ノ助成金取調書寫)	明治五		半	一冊	二八〇
富山百枝家政擔當ニ付勸解願一件書類	明治七—			九通	二六
金穀出納帳引渡ノ際金員計算不合ニ付御糺問之御願	明治八			一通	二六
富山彌市勘定	文久元—明治三		橫長半	一冊	二七
富山彌市監守擔當中金穀計算見積書	明治八		半	一冊	二五
八梁立家并地町小學校へ賣渡關係書類	富山與兵衛、竹川竹齋等	明治九		三通	二二
金貨出納錄	富山本家 明治一〇		橫長半	一冊	二七
宗家經濟金出納(富山武兵衛在世中本家ニ係ル出入控寫)	明治一		橫長美半	一冊	二七

財產付立帳	明治二三		橫長半	一冊	二七
悉記	安永—明治		橫長半	一冊	二七
悉記	慶應—明治七		橫長半	一冊	八〇
富山武兵衛相談書	嘉永三		半	一冊	二八
富竹問答	(竹川竹齋書入) 富山繁之助	安政二	半	一冊	二六
富竹問答(寫)	安政二		半	一冊	二六
安政富竹問答			半	一冊	二七
安政富竹問答記			半	一冊	二七

寺社寄進

神社佛閣祠堂控	元文二		橫長美	一冊	二五
當家先祖始而當所住居本家普請并三都出店諸方神社佛閣ニ建立寄附之控	富山定豪	寬政六	橫長美半	一冊	二
祠堂金心得	嘉永七		橫長半半	一冊	八〇
諸方神社佛閣祠堂并寄附	甲号		橫長美	一冊	二四
伊馥寺清淨軒地藏堂祠堂帳	富山秀定	寬永—享保	橫長美半	一冊	二
伊馥寺地藏堂清淨軒祠堂控	富山定廣	寬永—享保	橫長美半	一冊	二
伊馥寺清淨軒祠堂帳	淨生方	寬文—享保	橫長美半	一冊	二
伊馥寺洪鐘記	延寶			一通	二
伊馥寺緣起下書	元祿九			一通	二

性譽司堂覺 寶永五 牛 一冊 二九

萬豊山伊馥寺永代祠堂法事日牌月牌百萬遍誌錄寫 貞享一延享 美 一冊 四〇

(伊馥寺塔頭地藏堂前寶篋印塔銘文寫) 正徳五 一通 四一

(富山淨有(秀定)施入記草稿) 美 一通 四二

(萬豊山伊馥寺由緒書) 享保三 一冊 元

定朝作如來立像代金請取證文 享保二二 一通 三

伊馥寺寄附之帳 享保一五 一冊 六

御腹光佛座像讓狀 清淨軒懷哲老宛 享保一六 一通 七

伊馥寺<sub>22</sub>寄附書籍目錄 元文元 美 一冊 七

(伊馥寺寄附物控) 五綴 三

伊馥寺熊野權現石玉垣寄附書類 六通 一〇五

伊馥寺祠堂法要誌 15×12 一冊 三

(伊馥寺本堂什物控)(草稿) 美 一冊 三

(伊馥寺寺法并僧法書類) 六通 四

伊馥寺大位牌繪圖 二枚 四

(伊馥寺境内富士淺間大菩薩熊野權現社緣起) 美 一冊 三

(贈鍊文上人文稿) 正徳二 美 一冊 三

伊馥寺内佛壇繪圖并塗師見積書類 五通 一〇三

二所大神宮永代常燈明料請文 金屋大夫末濟 貞享五 一通 二七

(元祿以後寄進控寫) 金屋善左衛門 元祿三一享保四 一通 三七

外宮内宮常燈明料請取證文 金屋大夫 元祿五 一通 二八

二所大神宮御供田料請取證文 金屋大夫末禮 元祿八 一通 二九

内宮御神前敷庭料金預り手形 富山伊右衛門 正徳三 一通 三〇

内宮御神前敷庭料寄進請文 附、井面李之助書狀 正徳三 三通 三一

永代寄附料請文 金屋大夫末富 享保七 二通 三二

永代寄進臥具之覺 金屋大夫末富 享保二二 一通 三三

小夜着寄進請文 金屋大夫末富 享保一四 一通 三三

外宮常夜燈神前敷庭并兩宮大神樂料請文 享保一六 一通 三三

金屋末濟末禮連名金子借用證文 元祿九・一〇・一一 三通 三九

金屋善左衛門末濟金子借用證文 享保四・六・七 三通 三三

金屋内記末富金子借用證文 享保七・一一・一四・一五 六通 三三

金屋織部合力金請取證文 寛延四 一通 三五

金屋源右衛門金子借用證文 已七月廿九日 一通 三五

丸岡宗太夫金子借用證文 享保一八 一通 三四

太々神樂金内渡之證文 寶曆四 一通 三四

地藏堂寄附帳 (寶永一享保) 美 一冊 六

蓮生寺永代祠堂金寄附證文 寶永四 一通 七

普賢寺觀音堂建立三付寄進請取證文 寶永七 一通 八

黒谷金戒光明寄附證文并日牌證文 寶永八一享保一七 三通 九

金戒光明寺方丈并役者衆御狀 富山淨生宛 寶永八 二通 九

鎌倉(光明寺一切經并經藏寄進關係書類) 八通 三

寶永七・享保六・七 三一通 六

高野山西谷不動院祠堂日牌證文 寶永八・嘉永元 四通 五

高野山西谷不動院祠堂料請狀 享保二・六 一六通 八

百萬遍智恩院祠堂金請取證文 正德元一延享二 一通 六

南都極樂院永代常燈料寄進請文 書狀二一通添 正德二 一通 六

誓願寺法會施食料請狀 正德二 四通 五

京極法然寺寄進請狀 正德三 一通 七

洛東永觀堂禪林寺祠堂銀請取證文 正德四 三通 八

京都下御靈社拜殿寄進請文 正德四 一通 九

齋宮村地藏堂永燈明料寄進請取申覺 正德五 一通 九

長谷寺寄進ノ控 正德五一享保一一 一通 七

伊勢山田淨清院寄進請取證文 正德五・享保一六 二通 一五

明通寺祠堂料請取證文 享保元 一通 七

比叡山惠心院祠堂金請取證文 享保四 一通 八

建寶篋印塔於惠心院由來之序 享保四 一通 八

大日堂祠堂金請取證文并寄進依願狀 享保五 二通 八

山田蓮華溪梅香寺祠堂金請狀并靈牌銘文 享保六・一六 四通 五

武州善德寺祠堂料請文 享保九・一九・元文四 四通 一五

武州善德寺境内三部經塔建立願文案 享保一〇 三通 九

善德寺傳燈系圖(木版) 元文四 一通 九

信州善光寺金銅寶篋印塔并祠堂金請取證文 享保九・寶曆一二 三通 三

家 寺社寄進

醍醐炭山之舊室施入受納證文 享保一〇 一通 一〇三

法泉寺祠堂料請取證文 享保一一 一通 一〇六

安樂寺祠堂料并寄附受取證文 享保一一・一六 二通 一〇六

當所兩氏神社ニ寄進寶劍京都伊賀守ノ積直段書 享保二一 二通 一一

丹生神宮寺寶篋印塔寄附之一卷控 橫長半 一冊 一一五

丹生山神宮寺施入金請取證文 享保一二・寶曆五 二通 一〇九

大石村蓮淨寺本尊阿彌陀如來像寄進請證文代金 受取證文添 享保二二・一四 二通 一〇六

射和寺寄進請狀 享保一四・元文五・寬政六 四通 一〇五

下宮愛宕社御供田寄進請取證文 享保一四 二通 一〇七

十五堂寄附金請取證文 享保一四・元文五 二通 一〇七

下御靈社御道具加入金寄進請文 享保一五 一通 一〇六

洛東一心院祠堂料請狀 享保一七 二通 一〇五

真如堂日牌料請取證文 享保一七 一通 一〇三

丹生香念寺祠堂金請取證文 享保一七 二通 一〇五

慶恩院祠堂料請取證文 享保一七 一通 一〇三

四天王寺二舍利法幢院祠堂料請文 享保一七 一通 一〇七

高野山青巖寺彌勒尊開眼供養理趣三昧請定并願文 享保一八 二通 一〇五

高野山青巖寺圓光大師五輪塔再興願文寫 享保一八 一通 一〇六

高野山蓮華谷能谷寺知識院日牌證文 享保一九 一通 一〇三

阿波會村寶藥寺寶篋印塔寄進請取證文 元文四 一通 一〇四

川俣吉田村盛傳寺燈籠寄進請狀 寬保元 一通 一〇九

榮傳編旨代請取證文 元祿五 一通 一〇七

畑ノ導故院施入山藪證文并繪圖 元祿二二 二通 一〇五

慈覺大師作阿彌陀如來立像讓渡證文 寶永七 二通 一〇〇

經塔繪圖并銘文(蓮阿) 正徳三 二通 一〇九

五輪塔繪圖并銘文草稿 秀定(淨有) 正徳六 二通 一〇四

定歡寄進寶篋印塔銘文 (正徳・享保・元文) 七通 一〇二

弘道寺三部經塔銘文控 寬保三 三通 一〇〇

信州善光寺寶篋印塔建立願文寫 一通 九七

寶篋印塔繪圖 四枚 一〇〇

蓮生寺寶篋印塔繪圖 一鋪 一〇四

普門院曼陀羅會壹軸賣渡證文 享保二 一通 一〇五

阿彌陀如來像讓渡證文 享保六 二通 一〇四

江州木本淨信寺祠堂金請取證文 享保七 一通 一〇三

百萬遍方丈様ノ拜領水仙花ニ添シ和歌 享保八 一通 一〇二

(大宮司長春朝臣筆神號軸物添書) 享保八 一通 一〇一

一休和尚畫掛軸賣渡證文 樽代受取一札共 二通 一〇三

松葉次郎大夫 享保一三 二通 一〇三

佛天蓋繪圖并請取證文 大佛師法眼康繼 享保一八 三通 一〇六

和州初瀬長谷寺陽春坊取替金證文 寶曆二 一通 一〇六

弘道寺代替り一件關係書類 寶曆七 三通 一〇六

弘道寺常念佛一件ニ付遺譽上人存寄書 寶曆一〇 半 一冊 六

心行軒本尊阿彌陀如來像寄進請書 安永四 二通 一〇五

朝田寺恩借金濟方證文下書 文化五 一通 一〇四

藤澤山月牌印證 文化二三 一通 一〇三

伊勢大神宮川堤ニ有之候燈籠修覆寄進帳 文政八 美 一冊 一〇六

長壽寺祠堂金預り證文 天保九 一通 一〇五

來迎院寄進禮狀 正月十七日 一通 一〇四

洛東花頂山良恩寺寄進受納證文 巳四月十九日 一通 一〇三

信州善光寺法事料并寶塔地代請取證文 閏四月 一通 一〇二

幡隨院施入金請文 添狀共 二通 一〇一

御印書(清淨樂院宮香龕請取狀) 辛酉八月 一通 一〇〇

(蓮阿遺願目錄) 二通 一〇〇

貞讚法尼一周忌ニ付江府柳海和尚以取次阿彌陀經千部讀 一通 一〇五

誦回向依頼之口上書 二通 一〇四

柳海和尚遺言并臨旨之書付 一通 一〇三

(富山分散ニ付人丸社造宮御斷り請文) 文化五 三通 一〇二

釋迦誕生曼陀羅積書 三通 一〇一

印 鑑

御先祖四代御手跡(淨閑・淨山・淨信・淨礎) 四通 一〇四

五代前ノ與三兵衛印鑑 一通 一〇三

富山三軒家主人衆印鑑書判控并諸店手代共迄 一冊 一〇二

淨源、定敬、榮定、淨悅印鑑 六通 一〇一

橫長半半

定歎判形 吉村政明 正徳五

二通 八六

(花押鑑)定歎・定歎・定得・定重・定恒・定免・定賢・東雄

八通 八五

定敬韻鑑歸字例 周雄上人 正徳六

一通 八七

定敬花押 吉村政明 享保五

一通 八六

定敬判形

一通 八六

英雄盛榮華押撰 文化六

一通 八三

弘晟名字撰 文政三

一通 八三

弘晟名字號撰定案文

一通 八五

弘孝名字華押撰 文政五

一通 八三

富山與三兵衛代和助、甚助印鑑 文政六

一通 八七

弘晟女於繁名前書 文政七

一通 八三

伊右衛門定重名字華押撰 天保

一通 八四

與三兵衛盛榮印鑑

一通 八六

定寛印鑑 (明治)

一通 八六

日記

(明和五年在府日記)

横長美半 一冊 四四

二番覺書 (在府日記) 富山淨悅 寛政一〇

横長半 一冊 四四

在府日記一番 (富山) 文化一三

半 一冊 四四

在府中日記 文化一五

半 一冊 四四

(在府中日記) 文政三

半 一冊 四四

日記 (京) 文政四

横長半 一冊 四六

文政九戌年三月九日出途日記 (京) 文政九

横長半 一冊 四七

書簡

富山淨礎 (蓮阿) 書翰 貞學和尚宛

三通 一七

(伊右衛門定經書翰) 四月十四日 江戸手代宛

一通 八三

淨閑様御筆 五月廿日

一通 八三

御先祖様方御手 (松葉軒淨閑定弘) 十月三日

一通 八五

(喜左衛門定武書翰) 伊左衛門宛

一通 八四

淨入定歎様御手跡

六通 八七

淨入様ヨリ貞照様に御狀一封并御覺書 元文二

二通 八八

定歎試毫

一通 八九

富山長左衛門定吉書翰 二月十八日 長三郎宛

一通 八五

喜左衛門淨入様ヨリ左衛門淨源様への御狀

一通 八五

喜左衛門榮昌様ヨリ市郎左衛門様への御狀

三通 八五

與三兵衛定恒喜左衛門定寛忠四郎定賢連署狀 伊左衛門淨有宛

二通 八五 (A)

喜左衛門定歎書狀 正月八日

一通 八五 (B)

淨岳定歎様ヨリ淨有様に御狀

一通 八五

明照様御消息

一通 八七

定觀母榮照消息 長右衛門宛

一通 八六

隠居與三兵衛書簡 繁之助宛

一通 八三

長左衛門書狀 よそ宛

一通 八六

淨有室けん消息 淨節家内宛

二通 八三

淨有嫁女よそ消息 淨有宛

二通 八三

伊左衛門母消息 伊左衛門定榮宛

二通 八四

淨節室いよ消息 淨岳室みや宛

一通 八五

淨岳室みや消息 よそ宛

一通 八六

よね消息 いよ宛

一通 八七

定寛室いわ消息 定敬、いよ宛

二通 八六

定賢室たみ消息 定榮宛

一通 八六

初枝幾枝書翰 明照宛

三通 八七

繁之助定誼書狀 富山明照宛 嘉永二

三通 八七

立之介書狀 明照・浦宛 嘉永二

一通 八七

達之助書狀 富山與兵衛宛 安政三

一通 八三

(六郎左衛門書翰) 富山長左衛門宛 十一月四日

一通 八四

松平左近様御家老水野宗右衛門様御狀

一通 八七

(稻垣彌惣左衛門書狀) 十二月

一通 八八

(鳥羽御家中々悔狀)

四通 八九

(稻垣彌惣左衛門書狀) 十二月

一通 八九

(稻村玄蕃書狀) 正月

一通 九〇

(野々山内匠書狀) 九月・二月

二通 九三

(中柴源藏、近藤彌次兵衛連名書狀) 五月

一通 九四

(稻村平兵衛西江八郎左衛門書狀) 九月

一通 九五

(河田治郎左衛門書狀) 五月

一通 九六

(横山富左衛門大岩内右衛門書狀) 二月

一通 九七

(野々山四郎左衛門外四名連名書狀) 九月

一通 九八

金屋善左衛門書狀 富山市郎左衛門宛 九月廿日

一通 一〇一

増上寺貞詮和尚書翰 富山市郎左衛門宛

一通 一〇二

壽仙院書簡 富山伊左衛門宛 正月五日

一通 一〇三

陽春書簡 富山淨有宛

二通 一〇三

喜多坊書簡

一通 一〇四

温春書簡 富山市郎右衛門

三通 一〇五

知識院寛政書簡 富山市郎左衛門宛

三通 一〇六

不動院書簡 富山市郎左衛門宛

一通 一〇七

光明寺松譽、學譽書簡 富山淨源宛

四通 一〇八

(光明寺經藏修復關係江戸店書狀)

五通 一〇九

阿彌陀寺書簡 富山與三兵衛宛 十二月三日

一通 一五〇

神宮寺了泉書簡 富山市郎左衛門同八左衛門宛 文化八

三通 一五二

射和寺書簡 富山市郎左衛門宛 四月二二日

一通 一五三

眞譽上人書簡 與三兵衛宛 文化五

一通 一五三

不動院伯雄書簡 富山與三兵衛宛 十月八日

一通 一五四

世繼井齋書翰 富山與三兵衛宛 六月八日

一通 一五四

香川景樹書翰 (詠草添) 定豪宛 二月十五日	一通	八五
夢宅 (澄月法師弟子) 書翰 興三兵衛宛 寛政一一	一通	八六
搜譽上人手向草 澄月 寶曆八	一通	八七
池上尙守書翰 定豪宛	一通	八八
三神次郎右衛門書翰 富山興三兵衛宛	一通	八九
平田新助書狀	三通	九〇
内藤主水書翰 富山長左衛門宛	一通	九一
竹川彦九郎書翰 長井助左衛門宛 安永三	一通	九二
竹川彦兵衛書狀 與兵衛伯母速水七郎兵衛へ差遣 一件鳥羽表へ願書文案 嘉永七	一通	九五
竹川彦太郎書簡 弘安室お浦宛 嘉永二	一通	九六
田中久左衛門書簡 興三兵衛宛	一通	九八

文 雅

常譽清照法尼悼乃詞 定豪 明和八	一通	九四
搜譽上人手向 定豪 天明八	一通	九五
定豪詠草 書翰一通共 寛政三	六通	九〇
宗祖法然上人六百年御忌獻詠々草 文化八	一通	九〇
富松之うた 文政七	一通	九三
明照詠草 文政二・天保一一	一冊	九一〇
明照詠草 天保・弘化	九通	九三
和歌控 明照 天保一四	一冊	九〇八
定歡詠草	一通	九〇一
うたのひかへ 明照	一冊	九〇九
和歌諸聞書	一冊	九〇九
短冊 明照	一二枚	九一一
山樓落成記	一通	八九六
豫構録備忘	一冊	九〇六
安南國詞	一通	九〇四
萬葉筆者名寄極書 (萬葉集添書之寫定豪筆五通之内) 享保三	一通	八一〇
萬葉集墨付之枚數 (〳〳)	一通	八一
入日記 (〳〳)	一通	八二
清水谷前大納言宛梅小路共方添翰 (〳〳)	一通	八三
萬葉集叢覽記 (〳〳) 享保三	一通	八四

(萬葉集筆者年數覺書) 寬保元  
 京へ登候道具控 明和二三  
 萬葉集書入銀子借用證文 竹川彦左衛門宛 明和七  
 \* 竹川彦九郎書翰 (元曆萬葉集關係) 安永三  
 (借用銀永年元濟約諸證文案文) 竹川彦左衛門宛  
 安永三

雜

太閤秀吉公御葬式行烈記 文化一四年寫 22×8.5  
 元和九年二月尾張中納言様<sup>12</sup>御成之次第 一通 九四  
 延享二年秋將軍宣下其他書付 一〇通 九三  
 延享四丁卯五月二日御讓位御移徙 19×8.5  
 就御即位御上使并諸大名御使者及兩御所圖献上  
 目錄 一冊 九四  
 寶曆十辰九月將軍宣下御書附寫 橫長美半 一冊 九七  
 寶曆十二年八月廿二日桃園院様御葬送行列記 22×9.5 一冊 九五  
 寶曆十二年八月廿二日桃園院様御葬送御路附 一通 九六  
 寶曆十二年八月廿二日桃園院様御葬送龕前堂山  
 頭場繪圖 二葉 九七  
 寶曆十二年八月廿二日桃園院様御葬送御役人附  
 寶曆十二年八月廿二日桃園院様御葬送百箇日御  
 法事式 橫長美 一冊 九八

明和四丁亥九月廿五日正午刻准后御所御移徙行列 18.5×7 二冊 九六  
 明和七寅十一月仙洞御所上棟之御祝儀被下物控 一通 九三  
 安永八己年亥十二月十日戌刻後桃園院様御葬送  
 御行列 27×6 一冊 九二  
 天明六丙午年將軍御他界ノ節御沙汰書 一通 九四  
 大御所様御出棺御葬送御法事諸役人控 橫長半 一冊 九四  
 寬政二庚戌年十一月仙洞御所御還幸御行列 15×8.5 一冊 九五  
 寬政二庚戌年十一月廿二日辰刻御遷幸御行列記 15×8 一冊 九〇  
 文化七年九月廿七日知恩院様御得度之略記 一通 九〇  
 文化二一  
 文化十癸年十二月十六日酉刻御出棺後櫻町院様  
 御葬送御列書 26×5 一冊 九三  
 文化十年後櫻町院御葬送諸寺諸山御燒香願控 一通 九三  
 圓光大師諡號勅旨寫 元祿一〇 一通 九三  
 圓光大師加諡東漸號勅旨 寶永八 一通 九三  
 弘法大師九百年忌御法會式京都東寺執行之式圖 享保一九 一鋪 九四七  
 弘法大師九百年忌法事始終之記錄 高野山聖方 橫長美 一冊 九四八  
 於奧院弘法大師九百年忌法會執行式 高野山行  
 人方 一通 九四九  
 (元祖圓光大師五百五十年御忌獻詠并勅使役人名  
 前記) 橫長美 一冊 九二  
 元祖圓光大師六百年御忌華頂山大法會圖錄 (刊  
 本) 文化八 半 一冊 九三  
 圓光大師六百年忌勅令御式畧圖 (刊本) 文化八 美 一冊 九三  
 知恩院御門跡様公方様ノ御賻別之控 一通 九四



御行列記

一卷 九七

(大久保彦左衛門拜領於樹由緒書)

上野通夜物語 寶永六

横長美大 一冊 九三

星月夜萬八實錄拔書 (田沼家始末等)

横長半 一冊 九三

(佐野善右衛門刃傷一件聞書)

五通 九六

唐太鳥クシエンナイ番所焼拂殘置候壹通寫

五枚 九七

小金原牧狩上覽所并附近畧圖

一鋪 九六

御役人昇進雙六

一鋪 九六

象之國

三枚 九六

四十八對阿彌陀經和讚 寛保三

横長美半 一冊 九三

古知谷澄禪大和尚和讚 (木版) 明和五

26×10 一冊 九五

諸々ノ弘法大師御影 (木版) 天保一一

一三枚 九五

高王觀音經附高王經緣起白衣感應記 (刊本)

26×14 一冊 九五

元祖圓光大師御遺跡廿五箇所詠歌 (刊本)

15×9.5 二冊 九六

般若心經 ひらかな付 (刊本)

19.5×15 一冊 九七

勤行作法 (刊本)

15×9.5 一冊 九六

入學三要 (木版刷)

一枚 九六

銘石づくし (木版刷)

一枚 九六

火災をまぬかるゝましなひ (木版)

一枚 九五

放生歡喜草 (刊本) 文化二三

半 一冊 九六

第三集 26頁追加

丑年四月七日 鳥羽於会所被仰渡書付写

(与三兵衛裁許一件) . . . . .

符牒調 . . . . .

雪舟筆鐘馗掛物代金請取手形 享保一二 . . . . .

百枝松見台等代金請取手形 . . . . .

喜平事与三兵衛弘最弟二引取伊左衛門名跡ニス . . . . .

後市郎左衛門定静ト云 右一件書付 巳冬 . . . . .

(当所御神祭二付牢寄中口達之覚) 庄屋中宛 . . . . .

元暦万葉集伝来史に關する新事実 . . . . .

「東京朝日新聞 昭和三・九・二八佐々木信綱寄稿切抜」 . . . . .

：なお、これは一三頁下段「八二一」の神戸田中氏に關連する記事なれば . . . . .

富山家文書に非らざれど、該史料の付録の扱いなり . . . . .

明治元年 伊奈半衛門様御登二付風説書 . . . . .

定法進廻文之写 . . . . .

後陽成院宸翰一軸代金請取手形 享保一一 . . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

武  
州  
川  
越

横  
田  
家  
文  
書  
目  
録

横田家文書目錄目次

支配	領主	扶持	町役	租稅	御用	藏米	拜借	商業	醬油店	金融	貸借	名目
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
三頁	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

講	奉公人	訴訟	家計	貸家	屋舖賣買	土地	寺社寄進	雜
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
三九	三九	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

武州 川越 横田家文書目録

支配

領主

- 元祿五年申白河御得替之節覺書 寛保二寫 横長半半 一冊 二
- 巳十月勘定奉行被仰出候覺 (文政四) 一冊 二七
- 御用記録 横田氏 嘉永七—安政二 半 一冊 二
- 仕官雜具入用萬覺帳 天保 (弘化) 半 一冊 三

扶持

- (扶持并被下物目録) 寛政二—慶應三 一四通 三
- 1 高百石爲扶持宛行御沙汰書 横田次郎吉宛 寛政二 一冊 一
- 2 葵紋三所物一組并銀子五十枚目録 文政一〇 一通 三
- 3 花葵紋上下一具目録 天保三 一通 三
- 4 高五百石爲扶助宛行御沙汰書 天保四 一通 三
- 5 巴御紋單上下一具目録 天保六 一通 三
- 6 花葵紋裏付肩衣目録 天保七 一通 三
- 7 五人扶持目録 慶應三 一通 三
- 8 御羽織、御小袖目録 五通 三

- 9 銀子五枚目録 一通 三
- 10 御紋付御上下一具目録 一通 三
- 御用達横田次郎吉、同五郎兵衛宛賞詞并御達書 寛政三—嘉永七 三三二通 八

- 1 横田次郎吉<sub>2</sub>町年寄格申付苗字帯刀御免御達書 寛政三 一通 三

- 2 高三十石被下御沙汰書寫 寛政四 二通 三

- 3 高七十石御加増御沙汰書寫 寛政二—一通 三

- 4 百石御加増大役人並申付書 享和三 一通 三

- 5 横田次郎吉宛賞詞 九通 三

- 6 横田五郎兵衛・安齋伊兵衛兩人後見役被仰付御達書 文化二 一通 三

- 7 横田五郎兵衛宛御用出精ニ付賞詞并被下物目録 一八通 三

- 面扶持御擬作割合帳 文政一三 横長半 一冊 八

- 此方様頂載物控 天保六 半 一冊 三

- 未二月扶持代請取證文 弘化四 二通 二六

- 知行代請取證文 午七月 一通 二六

- (横田方擬作ニ係ル秘事之書狀) 一通 二七

- 三力年間御年貢并諸買物御勤ニ付一札 萬延元 一通 二七

町役

川越十ヶ町高井ニ御燒印預リ書上 (下書) 御鷹匠  
中田甚三郎宛 文政七

一通 一六

町年寄本役被仰付悦到來帳 安政一

横長半 一冊 二

(諸格式覺)

半 一冊 七

町年寄御用達兼帶横田五郎兵衛人別士格取扱ニ  
付伺書案 南町名主

一通 六ノ一

(町方、在方元ノ書上他)

二通 一三

覺帳 (町年寄名主等頂載物控) (享和一、天保六)

横長半 一冊 一九ノ二

租 稅

川越、前橋、相州、上總、江州等御取秘書 文政五

横長半 一冊 八

田中新右衛門年々田畑山林年貢控 横田氏 文久三

横長半 一冊 五

(前橋出店地面年貢諸役免除願)

一通 六

御 用 達

文政八年正月月別調帳 文政九

横長美 一冊 三

横田家御用達金五萬三千余兩爲冥加御上納仕度  
ニ付差出覺 文政一〇

一通 一六

御用中融通帳 横田 (文政年間)

横長美半 一冊 六

文化年中、天保十五年迄出金高調帳 横田氏  
天保一五

横長半 一冊 六

文化年中、天保十五年迄出金高調帳 横田五郎  
兵衛 天保一五

横長美半 一冊 一三

御用中借用金控 横田氏 天保

横長美半 一冊 七

年寄見習五郎兵衛煩ニ付上納金猶豫願書 嘉永五

三通 一四

年寄見習五郎兵衛煩ニ付上納金滞リ身代困窮ニ  
而願書 嘉永五

一通 一三

年寄見習五郎兵衛煩ニ付上納金取延願書 嘉永五

一通 一七

(横田五郎兵衛より上納金日延願) (嘉永五)

一通 一四

御代官一件子四月、落着迄日記諸控 横田内喜平

一冊 三

嘉永五 出雲屋弥太夫他、代官様滞金上納ニ付差出一札

一通 一七

嘉永五 御貸附金差加通 文久四

一冊 三五

御調達金ニ付一札 慶應三

一通 二八

御用中他借融通金返済殘控 明治四

横長半 一冊 一〇七

(米屋久右衛門より横田五郎兵衛御藏元取立願)

一通 一六

(横田五郎兵衛御領中拂米引請藏元役取立ニ付願)

二通 一六

實十一月

(御藏元名目拂米醬油店松山出店之議ニ付願書)

三通 一七

藏 米

(御藏米書上覺)

一通 七〇

(御藏米其他覺之書)

半 一冊 七

酉年勸米請取控 横田氏 萬延元

横長半 一冊 五

勸米畑年貢取立帳 横田氏 萬延元

横長半 一冊 五

勸米取立帳 横田氏 文久元

横長半 一冊 五

米送りニ付一札 文政三

一通 一〇一

(御拂米、松山御陣屋出店他ニ付願書)

一通 一六

未暮前橋御拂米代御廻金大凡調 未十月

横長半 一冊 八五

借用米證文 北町與兵衛 文政三 一通 三三

米借用證文 佐善次 文政九・一〇 二通 三三

年賦米借用證文 今成村彌五郎 天保一四 一通 三三

御融通米預り證文 横田次郎吉 辰二月 一通 三五

御融通米預り證文 巳正月 一通 三五

米預り證文 兒玉文左衛門 未十月 一通 三五

米預り證文 午十二月 一通 三五

米預り證文 預り主深澤隼人 一通 三五

(前橋米御拂代金預證文) 辰十一月 三通 一五

月渡拂代請取通 嘉永二・文久元 九冊 一〇

(米代金其他金子受取覺) 横田五三郎宛 柳居 八通 一〇

三平外 横長半

拜借金

御融通金拜借證文 辰 天保三 三通 二五

伊勢屋長兵衛々三千八百兩借用返済之議ニ付入置證文 天保二・二 二通 一六

横田家困窮ニ付願書 勝田次郎宛 嘉永五 一通 一七

(横田五郎兵衛弟常太郎(鹿菓子店)開店ニ付元手金拜借願控) 一通 一〇

(横田五郎兵衛店再興ニ付元手金拜借願控) 安齊富太郎 二通 一四

(借入金返済引當之醬油藏之議貸藏仕候ニ付元手金拜借願) 一通 一〇

(出雲屋重次郎拜借金願) 安政二 一綴 一六

(拜借金覺) 六通 二六

(横田家困窮ニ付領主宛願書 下書) (文久元カ) 一通 三五

横田家御救濟方歎願書下書 (文久元) 二通 三五

(横田家御擬作願差戻御達書) 文久元 一通 三五

(横田家救濟ニ付御勘定所趣意内示書控) 文久元 一通 三五

(家業困窮ニ付拜借金願) 一通 一五

(横田家困窮ニ付三ヶ年凌方救助願) (控) 二通 一六

(借入金高及引當物書上覺) 一通 一五

商業

商業

代呂物引錢決算書 元治元 一通 一六

床株讓渡證文 吉兵衛々岩吉宛 天保四 一通 一〇

杉木代金ニ付一札 文政二・二 一通 三五

砂糖代金滞ニ付一札 文政二・三 一通 一六

比企郡増尾村大豆賣主五左衛門(大豆賣渡内金)ニ付一札 文政二・三 一通 一〇

差出申一札之事 天保二・三 一通 一〇

(穴藏土藏入金銀調) 一通 一〇

書狀案文留 文政三 一冊 一〇

加判留 文政二・三 一冊 一〇

支配 藏米 拜借金 商業 商業

(喜平主人宛差出書狀)

醬油店

二通 一六

酒株賣渡證文 讓主四郎治と五郎兵衛宛 明和四

二通 三

仕法書

一冊 七

醬油代正金調 横田氏

横長半 一冊 四

醬油絞船ノ槓預リ覺 田中市兵衛と横田五郎兵衛宛  
文政一

一通 一九

(醬油藏普請ノ爲社地横田屋借用方鳴町惣代承知  
一札) 文政二三

一通 二〇

戊年勘定帳醬油店 天保二〇

横長半 一冊 九

醬油店貸金高調書 天保二二

横長半 一冊 四

(醬油造家仕入凡入用調帳) 横田氏 天保頃カ

横長半 一冊 四

酒株讓請證文 近江屋茂八と横田五郎兵衛宛 弘化三

一通 四

醬油店借家證文 下書共 坂本久兵衛と差出 嘉永三

五通 五

萬通帳 醬油店 嘉永六

横長美半 一冊 一〇

諸品仕入方高値ニ付醬油代値上ケ願書控 造醬  
油仲間惣代由次郎 文久三

一通 四

金融

貸借

勘定改帳 享和四

横長美半 一冊 六

貸金調之帳 天保八

横長美半 一冊 九

亥年金銀出入子春調勘定控 天保一一  
貸金取調書拔帳 安政五

横長半 一冊 五  
横長半 一冊 一〇

(深澤隼人借金證文) 寛政九

一通 一五

(武家方金子借用金證文) 文化九一 文政二

八五通 一八

(武家方金子借用金證文) 文政二三 安政五

五八通 一三

御家中様古證文金高調帳 慶應三

横長半 一冊 一五

前橋様御家中貸金古證文出拔帳 明治四

横長半 一冊 一〇

金子借用證文 明和五一 文化一五

七二通 一八

金子借用證文 文化二一 慶應一

一八通 一八

金子借用證文 文政元一 文政二三

七二通 一八

金子借用證文 文政六一 慶應四

三七通 一八

借用金證文 文政二二

一通 一〇

金子借用證文 天保元一 慶應三

七七通 一八

借用金證文 天保二一 慶應三

八〇通 一五

金子借用證文 天保三

二通 一〇

金子借用ニ付入置一札 天保二四

一通 一〇

金子借用證文 天保一四

一通 一〇

對談金證文 天保一五

一通 一〇

金子借用證文 天保一五

一通 一〇

預リ金年賦濟證文 天保一五

一通 一〇

借用金年賦證文 天保一五 一通 二七

金子借用證文 天保一五—嘉永五 三通 二九

借金示談一札 嘉永七 一通 二〇

金子借用證文 嘉永七 一通 二七

借金ニ付對談一札 安政二 一通 二五

金子借用證文 安政四 一通 二五

年賦金借用證文 萬延元 一通 二七

金子借用證文 萬延元 三通 二七

金子預り證文 子十二月 一通 二八

\*金子借用證文 辰 三通 二七

商賣元手金被下一札 享和二 一通 一九

(横田五郎兵衛)借用金ニ付添證文之事 享和二 一通 二四

(横田五郎兵衛)安齊屋新兵衛宛十五兩借用添證文) 文化七 一通 二五

親類相續合力金出入置一札 文政元 一通 一九

借用金合力證文 豐田新田佐右衛門 文政二 一通 二〇

(横田五郎兵衛)九拾七兩借金返済方ニ付添證文) 文政六 一通 二六

志儀町惣兵衛借財方合力ニ付一札 文政七 一通 二〇

松崎半平跡式相續書入家屋鋪取戻ニ付一札 文政七 一通 二〇

(横田屋五郎兵衛)七拾九兩借用ニ付添證文) 天保三 一通 二七

(横田家)一兩貳分借用ニ付添證文) 天保八 一通 二八

御奉公中退身ニ付内借金返済方差入申一札之事 天保一三 一通 三一

家賃利金并揚金請取帳 天保一四 一冊 五

銀治町市郎兵衛金子借用一札 文化一〇 一通 二四

足立郡石戸村豐五郎借用金返済二付一札 文化一二 一通 一九

榎屋吉兵衛借用金一札 文政一三 一通 二七

六軒町儀助借用金利息預り覺 文政五 一通 二四

金子借用證文 下小見野村利右衛門 文政六 一通 二五

鳥羽井新田武左衛門二十四兩借用ニ付添證文 文政六 一通 二四

穀代殘金濟方一札 文政六 一通 二四

五十人講金借用金引當之爲差入一札 文政七 一通 二四

脇田村久五郎三拾兩借用一件ニ付一札 文政七 一通 二五

比企郡井原宿淺之進四拾兩借用一札 文政八 一通 二七

横田五郎兵衛)借用金返済方困難ニ付二村忠次郎)頼一札 天保一 一通 二八

金子借用證文 小久保村喜八 天保一 一通 二九

灰屋長兵衛家賃米代滞ニ付借用一札 天保三 一通 二五

鳴町半右衛門)横田屋宛金子借用證文 天保四 一通 二〇

近江屋惣兵衛新五拾人御講金借用一札 一通 二五

板橋宿辻村屋吉五郎)田中屋文兵衛宛一札 天保九 一通 二五



上伊草村小右衛門借用金返濟ニ付一札 天保二二 一通 三五

議定一札 坂戸宿八郎右衛門廿四兩借金返濟方ニ付一札 文政六 一通 三七

八王子横山宿林平百四兩餘借用金返濟方議定一札 天保一四 一通 三九

八王子八日市定兵衛五拾壹兩借用返濟方ニ付議定一札 天保一四 一通 三〇

八王子八幡宿尾張屋彦右衛門百七拾七兩餘借用議定一札 天保一四 一通 三二

八王子八日市宿山田屋榮次郎八拾壹兩餘借用議定一札 天保一四 一通 三三

八王子八日市宿後家きの五拾五兩借用議定一札 天保一四 一通 三三

借用申金子年賦證文之事 文化九 一通 三九

伊勢屋文左衛門年賦金證文 文化一一 一通 三〇

年賦金借用證文 文化一三 一通 三一

福田村藤八借用 年賦添證文 文政六 一通 三三

年賦金證文 横田五三郎の銀治町喜平次廿四兩借用 文政六 一通 三三

酒造仕入金百四拾六兩高次町庄兵衛借用年賦金證文 文政七 一通 三四

清水屋清兵衛年賦金證文 天保一〇 一通 三五

川越南町富太郎年賦金借用證文 天保一四 一通 三六

金請取之通 近藤平太左衛門 安政二 一冊 三六

横長半半

具足質入證文 蟹江軍治兵衛 文政九 一通 一五

質物冬着物預り覺 鳴町三吉 文政二二 一通 一五

(手塚源八郎勝手向一件) 亥六月 一通 一五

(宮下五郎兵衛の借入金返濟之義ニ付横田次郎吉宛書狀) 五通 一五

金子預り覺 天保九 一通 一四

(金子預り覺) 天保一〇 二通 一四

(川越様御下ケ金請取覺) 一通 一三

(廻金受取覺) 丑二月 一通 一四

中山小屋廻金受取證文 相田新五左衛門等 丑二月 一通 一四

(御屋形御火災ニ付釘代金預り覺) 申一月 一通 一五

前橋御勘定所未暮御廻金調 未八月 一冊 一六

(利足金受取覺) 宮田喜太夫 四通 一三

(本家藤助に用立金預り覺) 文化一三 三通 一四

(出雲屋引合之内受取覺) 安齋富太郎 未 四通 一四

(金子請取、預り覺) 伊平衛外横田次郎吉宛 三通 一五

(金子請取證文) 西田儀左衛門他 六通 一四

(普請金受取覺) 戊五月 一通 一五

爲替手形 亥七月 一通 一六

横長半

名目金

(横田屋五三郎より三井宛上野御貸付金借入願書) 文政八	一通	二五
(上野御貸付金鳴町預リ主より横田屋へ金子預リ手形) 文政二一	一通	三三
(上野御貸付金蓮馨寺門前預リ主より横田屋へ金子預リ手形) 文政二一	一通	三二
(上野御貸付金蓮馨寺門前預リ主より横田屋へ金子預リ手形) 文政二三	一通	三三
(上野御貸付金石井村久五郎より横田屋へ金子預リ手形) 天保四	一通	三四
(上野御貸付金石井村久五郎より横田屋へ金子預リ手形) 天保四	一通	三五
(横田屋五郎兵衛より脇田久三郎・齋藤仙藏宛御用金千兩融通願) (天保七)	一通	三六
元金并利足請取之通 三井次郎右衛門 横田五郎兵衛宛 天保一四	一冊	三七
三井組に差入候證文之寫 天保一四	一冊	三八
三井書附之下書先方々差出候分 天保一四	三通	三九
三井方差入置候証文之寫 天保一四	一冊	三〇
三井取引書面類之寫 天保一四	一冊	三一
(御勘定所御貸附御金預リ手形 三井組宛) 天保一四	一通	三三
(三井組宛御勘定所御用御貸付金借入證文) 天保一四	一通	三四
(三井組宛御勘定所御用御貸附金借入證文) 天保一四	一通	三五
(三井組宛御勘定所御用御貸附金借入添證文) 天保一四	一通	三六

引當地面箇所附 町・屋鋪・田畑箇所證文之事 天保一四 一冊 三七

(横田屋五郎兵衛三井宛御貸附金借入證文) 天保一四 一通 三六

(御勘定所御用貸付金及上野御貸付金借用高覺) 文政三年と天保一三年迄 一通 三三

三井組一件ニ付遠山左衛門尉様御番所に差出ル書類 弘化三 一冊 三四

三井組御用御貸附金借用手形并添證文(雛形) 弘化三 一冊 三九

三井一件上野御貸附之分落着證文之寫 弘化三 一冊 三八

弘化三午年閏五月三井組書類寫 弘化三 一冊 三七

三井方差出一札(控) 弘化三 一冊 三六

武州川越南町五郎兵衛所持之地面三井組に引當之分取調帳 弘化三 一冊 三〇

三井一件御日延ニ付三月十日差出候歎願書之覺 弘化三 一冊 三五

東叡山御金拜借一件御取扱ニ付念書一札控 弘化三 一冊 三九

三井組へ上納引當家屋敷ニ付水橋傳次郎宛差入一札控 弘化三 一通 三七

三井組へ上納引當家屋敷戻證文控 弘化三 一冊 三六

三井一件地面取捌談日記 弘化三 一冊 三三

三井組に引當ニ差出置候地所沽券高并家賃等取調帳 弘化三 一冊 三一

三井欠合之始末并差上候書類之覺 横田 弘化三 一冊 三〇

三井店年賦金請取之通 川越南町年寄五郎兵衛外八人衆宛 (弘化三一萬延元) 一冊 三〇

- |   |     |    |
|---|-----|----|
| 三井方の借用金覺 弘化三  | 三通  | 三四 |
| 三井組扱上野御門主并御貸附所の拜借金一件書 弘化三                           | 二六通 | 三三 |
| 1 横田五郎兵衛外十二名奉行所の出頭ニ付御届書 下書 二月                       |     |    |
| 2 三井組與示談ニ付嘉助の差上書付控 四月                               |     |    |
| 3 拜借金引當地所ニ付百姓利兵衛願書                                  |     |    |
| 4 三井組一件示談行届候ニ付御吟味下ケ願書 下書                            |     |    |
| 5 三井組宛年賦金減額方歎願書 控共二通 壬五月                            |     |    |
| 6 示談行届ニ付差入一札  |     |    |
| 7 引當地所上り高渡方請書 下書 六月                                 |     |    |
| 8 示談中宿御預ケ人御宥免ニ付歎願書 下書 八月                            |     |    |
| 9 賣券狀の南町役人奥印ニ付一札控 八月                                |     |    |
| 10 年賦證文并御扱始末書御預リニ付町年寄中島寛四郎宛差入一札 十月                  |     |    |
| 11 返済年賦金ニ付水橋傳次郎宛引請一札 十月                             |     |    |
| 12 拜借金一件示談ニ付差入一札 下書                                 |     |    |
| 13 示談ニ付御吟味下ケ願書 下書 十月                                |     |    |
| 14 引當地所引請ニ付水橋傳次郎の差入一札 十月                            |     |    |
| 15 川越南町年寄連印年賦證文預置覺 三井組 十月                           |     |    |
| 16 中島寛四郎宛差入一札 下書 十月                                 |     |    |
| 17 年賦證文預リ一件始末念書 三井内高津傳兵衛                            |     |    |
| 18 三井組年賦高津傳兵衛の戻リ證文 十月                               |     |    |
| 19 五郎兵衛身上向ニ付歎願書下書                                   |     |    |
| 20 引當地所賣渡ニ付近江屋伊八ト取交ス一札                              |     |    |
| 21 引當地所買請ニ付水橋傳次郎の差入一札                               |     |    |
| 22 引當地所家酒造道具株式戻證文 下書共二通                             |     |    |
| 23 金子預リ證文寫  |     |    |
| 24 上納金書拔控   |     |    |
| 三井組の借用金返済方滞リニ付懸合願書類 弘化三 慶應一                         | 一七通 | 三五 |
| 1 横田嘉助宛重助、利兵衛書狀 三通                                  |     |    |
| 2 三井組宛歎願書下書 二通                                      |     |    |
| 3 同 二通  |     |    |
| 4 川越町役奥印ニ付願一札 二通                                    |     |    |
| 5 三井一件濟方勘定下書 五通                                     |     |    |
| 6 三井組宛年賦返済金來ル卯年分ニ付爲取替一札控 慶應一 二通                     |     |    |
| 三井一件之節銀治町裏地近江や茂八讓分古券紛失之旨北澤五郎兵衛殿扱再證文調印致遣候ニ付此一札取置 嘉永五 | 一通  | 三五 |
| 嘉永五子年正月申三井組に差入之證文二通下書 嘉永五                           | 半   | 三五 |
| 三井組宛入置添證文并預リ手形控 安政三                                 | 半   | 三七 |

(江戸表借用金利息之覺) 安政三	一通	三〇七
(御貸附金御日延願) 午九月	一通	三〇〇
(借用金返済日延願添書控)	一通	三〇〇
年賦金請取覺 三井組 横田宛 安政四―慶應三	四四通	三〇三
(横田家貸付金取立及三井組等より貸入金返済家名存續之義ニ付歎願書) 明治四	一冊	三〇七
講		
永代手長講金請取證文 明和七	一通	三〇六
催合金目録并御請書之事 天明元	一通	三〇六
五十人講受取書 講金預リ證文并利足請取證文 寛政六―天保三	一冊	三〇九
*五十人講金借用引當之爲差入一札 文政七	一通	三〇六
*五十人講金借用一札 近江屋惣兵衛 天保四	一通	三〇五
積金仕法帳 会主田雲屋重次郎 嘉永七	一冊	三〇九
(講金受取覺) 寅正月	一通	三〇三
(松竹講取集金預リ覺) 卯七月	一通	三〇四
割濟講掛金預リ證文 未九月	一通	三〇三
(御積金世話方出府願) 岡山三七等	一通	三〇九
積金仕法	一通	三〇九
奉 公 人		
給金前借ニ付添證文 文化一三	一通	三〇六

奉公人正助請狀 請人善兵衛・人主源次郎 文化一四	一通	三〇九
元奉公人南町倉八差入證文 文政二	一通	三〇〇
倉八御譜代被召抱候ニ付差上一札 文政二	一通	三〇二
(嘉助川越本店再勤ニ付請狀) 文政三	一通	三〇三
正助江戸店支配被仰付候ニ付差上一札(請狀) 文政五	一通	三〇三
倉八病氣ニ付御名目龜太郎へ被下候ニ付差上一札 文政五	一通	三〇四
善助屋號被下支配被仰付候ニ付請狀 文政九	一通	三〇五
伴七支配被仰付候ニ付請狀 文政九	一通	三〇六
甚兵衛支配見習被仰付候ニ付請狀 文政九	一通	三〇七
又兵衛御元手金及家號被下候ニ付差上一札	一通	三〇九
出店佐吉拜借金之件ニ付差上一札 文政九	一通	三〇八
出店六右衛門御元手金拜借冥加御用捨ニ付差上一札 文政九	一通	三〇三
龜太郎三人扶持被下候ニ付差上一札 文政九	一通	三〇三
出店利兵衛拜借金御用捨ニ付差上一札 文政九	一通	三〇三
出店五右衛門拜借金御用捨ニ付差上一札 文政九	一通	三〇三
江戸店嘉助支配人役被仰付候ニ付請狀一札 文政九	一通	三〇四
出店清介の本店宛差出一札 文政九	一通	三〇五
忠兵衛支配見習被仰付候ニ付差上一札 文政一〇	一通	三〇六
出店代五郎拜借金御用捨ニ付差上一札 文政一〇	一通	三〇七
越後屋善兵衛横田六右衛門店休店ニ付引請再建願一札	一通	三〇八

横田忠兵衛ハコ本店宛御屋號被下候ニ付差上一札  
天保七 一通 三元

本店嘉助カサの帳面向取調ニ付差上一札  
一通 三元

醤油店専造センの帳面向取調ニ付差上一札 卯正月  
一通 三元

横田手代嘉右衛門御召捕一件内濟ニ付届出願書  
天保一四 一通 一元

平民苗字御差許ニ付喜平宛心得方書狀 明治三  
一通 一元

手代喜平儀出店仕度候ニ付元手金拜借願  
一通 一元

訴訟

兩家紛争ニ付取替濟口證文 文政元  
一通 一元

川越南町名主富太郎江戸御呼出ニ付  
病中出府日延願 天保一一九  
一通 三元

川越南町一件ニ付江府出府被仰付候嘉助病中  
ニ付延期願 午九月  
一通 二元

横田五郎兵衛借金返濟之訴訟打切山上方ニ示談  
之儀願書 安政九  
一通 一元

諸向日記(川寺村惣次郎の訴訟一件始末)  
安政七一萬延元 半 一冊 五

川寺村年寄惣次郎の横田五郎兵衛に相掛候出訴  
一件ニ付評定所宛願書 萬延元 一通 一元

川寺村惣次郎出入一件ニ付拜借金願控  
一通 三元

(武田建彦ヨリ横田五郎兵衛宛裁判ニ關スル書狀)  
一通 二元

家

佐々木庶流横田家始祖之由緒  
横長半半 一冊 一

(長澤家名取立ニ付議定一札) 文政七  
一通 三元

(横田家由緒及頂載物書上) 天保三  
半 一冊 四

(家族人數書上) 元文三  
一通 九

過去帳之寫 横田家 (嘉永五)  
三通 一〇

粹五郎助相續ニ付願書 横田次郎吉の勘定奉行  
亥九月 一通 八

五郎兵衛女房人別送一札 桐生新町名主 安政七  
一通 六

五郎兵衛女房入籍ニ付落着一札  
南町名主安齋富太郎 安政七 二通 七

妻才が儀復縁願 慶應四  
一通 二五

\*士格被下相續願ニ付覺 卯八月  
一通 六

家計

覺帳(雜用控) 文化一三  
横長半 一冊 九

家督調之帳 横田氏 天保八  
横長半 一冊 九

日記録 弘化四—嘉永五  
半 一冊 三

嘉永七寅年正月改覺帳(當時家督分并一年分上  
リ物覺) 嘉永七 横長半 一冊 元

嘉永七寅年正月改(喜平覺書) 嘉永七  
横長半 一冊 三

\*嘉永七甲寅年二月仕法帳 五郎兵衛 嘉永七  
半 一冊 三

勝手向諸人用仕分書 横田氏 安政二  
横長半 一冊 六

雜用記 横田 安政二—文久  
半 一冊 五

五郎兵衛家事向仕法愚案書 横田 (安政末)  
横長半 一冊 四

暮向調 横田氏 文久頃  
横長半 一冊 七

年分暮之外出金物覺

志らべの調(家産書上) 横田氏 六月

一通 三五  
一冊 一五

家 貨

借地證文 安永四―明治二

(一〇通) 二九

貸地敷地請取證文 長木屋次郎吉宛借主長沢利助  
安永四

一通 二九

地借請證文 文政八

二通 二九之三

店々上り高覺(建家地代土藏敷銀寫控) 弘化三

一冊 三三

鳴町袋地請證文 嘉永二・安政三

六通 二九之四九

鳴町北側地所借地證文 中島久平 明治二

一通 二九之〇

貸地敷金受取證文(案文)

一通 二九〇

店請證文(志儀町借家) 文化四―元治元

二八通 空

(家賃書上帳) 安政四

一冊 空

鳴街長屋家賃納通 横田 元治元

一冊 五

(家賃金滞之利足受取覺) 申三月

一通 一三

鳴町北側長屋普請金出入帳 安政三

一冊 五

御長屋壹棟積書帳 安政三

一冊 五

任用建方帳 安政三

一冊 六

鳴町長屋諸入用控

一冊 六

地所建方日履帳 平五郎 安政三

一冊 五

長屋二階建目論見繪圖面

一通 三五

屋敷賣買

川越南町、志儀町家屋敷讓渡證文  
横田次郎吉・五郎兵衛宛 享保一九―慶應三

三四通 一六三

川越江戸町西側屋敷地賣渡證文 横田五郎兵衛  
天保一五

一通 三六

屋敷賣渡證文 延享四―天明八

三通 一八〇

屋敷買請ニ付對談一札 文政八

一通 三五

家屋敷讓渡證文 天保一四

一通 三六

地所讓渡對談一札 巳十二月

一通 二六

志儀町地届一件ニ付入置申一札 文化三

一通 二四〇

武州川越南町五郎兵衛所持面取調帳 弘化三・四

一冊 三一

南町分覺(沽券寫) 弘化三

一冊 三三

鳴町分覺(沽券寫) 弘化三

一冊 三三

南町、志儀町、高澤町沽券狀之覺

一冊 三四

\*三井組貳千三百兩口濟方之節川越地所賣拂高  
覺 弘化三

一冊 三五

(横田家沽券狀受戻シ出入一件對談書) 明治四

一通 七

(横田家沽券狀受戻シ出入一件狀) 明治四

一通 七

(中里作兵衛沽券狀引當一件對談書類并取極二札) 半 一冊 七

土地

野田村田畑證文 享保三―天保五 二八通 一六  
地所賣渡ニ付一札 文久二 一通 二六

(田地賣渡證文) 寬政六―享和元 五通 一六

田畑讓渡證文 寶曆九―天保八 一九通 一七

野田村田方違作ニ付割合帳 安政六 一冊 四

七月中洪水ニ付野田村田方違作安政六巳未十月調 一冊 四

横田氏 安政六 一冊 四

田畑取立帳 萬延元 一冊 四

野田村地面小拾帳 萬延元 一冊 四

(川田谷村長八所持田畑覺) 一冊 四

質地入置一札 慶應三 一通 二九

質地證文 慶應二 一通 二六

質地證文 萬延元 一通 二五

質地證文 明和四―慶應四 一六通 一六

質地流證文并議定一札 天保一三 二通 二五

寺社寄進

(仙波御宮御修履金二件) 享保二〇―安永一〇 半 一冊 三

養壽院常恒會料寄附金請取覺 天明六 一通 七

江之島上の宮社備扶持方料請取覺 天明八 一通 六

永代常夜燈御献料御師松木左京請取一札 寬政元 一通 六

養壽院永代獻燈料請取覺 寬政三・二一 二通 三

永代常夜燈料神納覺 文化一四 一通 三

高澤山觀音寺永代護摩料金請取證文 文化一四 一通 三

養壽院院號料領標 文政三 一通 三

朝田山行傳寺本堂建立寄進請取覺 文政二 一通 三

法泉寺方丈庫裏再建寄附請取覺 文政七 一通 三

養壽院寄附請取覺 天保三 一通 三

高野山西南院靈牌請狀 天保一〇 二通 六

養壽院志納金領標 天保九 弘化二 二通 六

(孝顯寺祠堂金之利足分請取覺) 午七月 一通 四

雜

石原町出火之節控帳并近火見舞帳 安政三 二冊 三

嵯峨御所御用御合印・御用札并御土器請書 文久四 一通 一五

廉乘作長柄銚子嶋台三所物極書 後藤光孝 安永九 半一通 一五

小橋屋平井店文書目錄



小橋屋平井店文書目錄目次

商業・金融

店則

頁

元方

頁

勘定帳簿

頁

御用金

頁

爲替

頁

別家

頁

講

頁

雜

頁

家

頁

# 小橋屋平井店文書目錄

## 商業・金融

### 店 則

改仕法申渡シ候條	寶曆四	半	一冊	一
戌ノ年申開改	寶曆九	美	一冊	二
通勤證文之事	明和五	半	一冊	三
申談之覺	明和八	半	一冊	四
申聞之覺	明和八	半	一冊	五
店仕法	安永四	半	一通	六
内相談之書	安永九	半	一冊	七
内寄會申談之覺	定座格衆中宛	美	一冊	八
申談之覺	天明八	半	一冊	九
大坂行要用書覺	(店員移動心得等)	橫長美大	一冊	一〇
寛政四				
支配申堅證文	寛政一三	半	一冊	二
覺	文化四	半	一冊	三
江戸店濟落諸用記	平井江戸店村井控	橫長半	一冊	三
文化五				
巳冬内談之下書	文化六	半	一冊	四
申堅ケ條一札	文化一〇	半	一冊	五

已正月廿日日寄合演舌書 文政四

支配人讀聞 文政八

通勤定證文下書 兩替店 文政九

天保八酉年定書入 天保八

定下書 天保一一

儉約仕法内談書 天保一三

天保改革増補支配人讀聞 兩替店 天保

京糸店大變後大齊落勘定納大改革内談口上書  
(元方當役權右衛門控) 弘化五

三ヶ年大儉約慎方御請證文 嘉永四

三ヶ年大儉約慎方御請證文 大阪別家中 嘉永四

辰春大儉約過上書

五ヶ年儉約取極之控相談書

覺書之事(諸役場品物扱心得他) 平井利助 丑十月

覺(外勤心得他) 寅八月

卯ノ正月書拔覺

店法度作法并異見之事

衣類覺

(小橋屋久兵衛并清兵衛江申聞ケ候口上覺)

(申聞之事)

		半	一冊	一六
		半	一冊	一七
		橫長美大	一冊	一八
		半	一冊	一〇
		半	一冊	二〇
		美	一冊	二一
		半	一冊	二二
		半	一冊	二三
		美	一冊	二四
		半	一冊	二五
		半	一冊	二六
		橫長美大	一冊	二七
		半	一冊	二八
		半	一冊	二九
		半	一冊	三〇
		半	一冊	三一
		半	一冊	三二
		半	一冊	三三
		半	一冊	三四
		半	一冊	三五
		半	一冊	三六
		半	一冊	三七
		半	一冊	三八
		半	一冊	三九
		半	一冊	四〇
		半	一冊	四一
		半	一冊	四二
		半	一冊	四三
		半	一冊	四四
		半	一冊	四五

(心得書)

元 方

割符目録帳 平井店 延享五 23 x 19.3 一冊 丑  
 割符申開候覺 寶曆七 美大 一冊 毛  
 割賦用證文類案文 安永六 半 一冊 辰  
 本家方家督讓・名前預・死後讓集 橫長半半 一冊 戌  
 格歳數内立・割賦任法・國歸并勘定祝集 天明六 美 一冊 巳  
 寄會帳 文政五 一冊 酉

兩替店成立覺 平井店控 文政九 橫長美大 一冊 巳  
 兩替店大濟落濟後改革内談 (店風改革一件) 天明五 橫長美大 一冊 酉

勘定帳簿

棚おろし覺 寶曆二一 橫長美大 一冊 丑  
 小橋屋善兵衛有代口物有銀改控書 橫長美大 一冊 酉  
 京都店 明和八 橫長美大 一冊 酉  
 有代呂物改又覺 小橋屋久兵衛控 安永六 橫長美大 一冊 丑  
 元方勘定帳 平井店控 天明八 橫長美大 一冊 丑  
 大元方有物勘定書披 平井利兵衛 天明八―寛政二一 橫長美大 一冊 丑  
 元方利勘定積り書 平井店 寛政二三 橫長美大 一冊 兎  
 勘定目録書 小橋屋幸右衛門控 文化三 橫長美大 一冊 兎  
 惣勘定目録書 小橋屋幸右衛門控 文化四 橫長美大 一冊 丑

棚卸勘定 平井利右衛門控 文化二〇 橫長美大 一冊 丑

諸勘定帳 平井店 天保一〇 橫長美大 一冊 丑

代呂物勘定 元治一 橫長美大 一冊 丑

子春分巳春分 太物方勘定本書 元治元―明治一 橫長美大 一冊 丑

三勘定帳(元方・代呂物・棚卸) 吳服店控 元治一―明治一 橫長美大 二冊 丑

元方・代呂物・棚卸・三勘定 京平井店 元治元―明治八 橫長美大 三冊 丑

代呂物勘定 平井吳服店控 元治三 橫長美大 一冊 毛

覺(代呂物勘定他) 卯五月 半 一冊 天

兩替屋出入帳 油屋次兵衛 嘉永元 橫長半半 一冊 丑

酒造場勘定書 酒屋店控 文久三 橫長美大 一冊 酉

御用金

御用金被仰付候一件覺 寶曆二一 橫長美大 一冊 六

御用金被仰付候一件、右本家必被仰聞候一書 寶曆二一 橫長美大 一冊 六

天明五巳年十二月十二日夕三郷月番惣年寄 名前を以書面之寫 天明五 半 一冊 九

覺(御用金高・身上都合御尋之件) 半 一冊 三

為替

小橋屋振出御爲替銀手形 弘化四―安政四 六通 六

貸借

井筒屋作兵衛銀子借用證文 越後屋宗林宛 寬延二  
 越後屋仲七銀子借用證文 越後屋利右衛門宛 天明三  
 一通 空

別家

善兵衛仕分ケ遣シ別家被致候目錄 寶曆四 橫長美大 一冊 空

自分商賣別家申堅メ一札 寬政二三 半 一冊 空

自分商賣別家連判證文 文政三 半 二冊 空

枝別家定證文 文政六 半 一冊 空

別家中暖簾印控 但シ又別家之者認立テ 半 一冊 七

別家衆中實子養子共部屋住之内且名前ニ附候砌  
 リ諸祝儀認立テ控 酉十一月 半 一冊 七

口上書一札 御別家中 小橋屋喜兵衛、新右衛門  
 辰十月 半 一冊 七

名代衆中住宅求メ仕法 安永一〇 一冊 九七五

元祖講・常盤講提書 文化六 半 一冊 七

元祖講報恩講取定事 平井利右衛門控 文化九 橫長美大 一冊 七

引札

小橋屋兵之助店引札 (草稿) 一枚 七

小橋屋兵之助引札 二枚 七

小橋屋引札 三枚 七

松前屋彌三郎店引札 丑十一月 一通 七

大坂かうらい橋いつくら傳藏店引札 辰三月 一枚 八〇

同 巳正月・六月 二枚 八

いわきますや店引札 一枚 八

ぬし井まほ屋市郎治店引札 一枚 八

松屋善兵衛引札 戊十一月 一枚 八

松屋清兵衛店引札 一枚 八

松屋清兵衛店出店丸屋正一郎店引札 二枚 八六七

雜

覺(米買入之儀ニ付支配人口上) 平利左衛門宛  
 八月 半 一冊 八

店開後割覺控 吳服店 元治元 半 一冊 八

家

覺(隱居賄料不足ノ件ニ付取極覺)  
 利左衛門外 明和四 半 一冊 七

覺(茂兵衛名跡相續人取極書) 山手屋要右衛門宛  
 小橋屋利兵衛外 安永七 半 一冊 七

覺書(養女引取覺) 河波屋彌七宛 小橋屋利右衛門  
 (天明五) 半 一冊 七

\* 申聞之事 文化六 半 一冊 七

家秘龜鑑後見錄 平井別家老分中 天保四 半 一冊 七

表題(内容) 作成者↓宛先 作成年代(推定・内容年代)

形態 数量 史料番号

覚／一番(元方勘定出入・出入指引算用・京大坂賄方入用覚・奉公人名簿)

(元方) ↓ 宝暦一三年正月(宝暦一二年八月〜明和四年七月)

縦半半・四ツ目綴 一冊 一〇一

覚／式番(元方勘定出入・出入指引算用・京大坂賄方入用覚)(元方) ↓

明和五年正月(明和四年八月〜安永三年正月) 縦半半・四ツ目綴 一冊 一〇二

覚(店屋敷讓・奉公人規則・勘定規則など) 安永九年春(安永四〜天明

七年) / 内輪預り覚(本家連家への利銀配分記録) 天明六年(天明六

・七年) 縦半半・四ツ目綴 一冊 一〇三

年々新手形覚并ニ箱鍵年番覚 天明三年春(天明元〜七年) / 年限覚(上

級奉公人処遇記録) 天明三年春(〜寛政二年)

縦半半・四ツ目綴 一冊 一〇四

(格席次第目録并ニ賄料印料祝儀ほか) (天明期) 豎半美・鎖綴 一冊 一〇五

大絵図式冊 ひら井呉服店(絵図容器) 文政八年晚春

木箱(七五×四二×七) 一点 一〇六一

呉服店大絵図 (文政八年) (大工卯右衛門) ↓

二〇七×四五九 一鋪 一〇六一二

附録貳階図式 (文政八年) (大工卯右衛門) ↓

一六四×四五〇 一鋪 一〇六一三

(古文書送付につき書状) 昭和一〇年六月一二日 村井和本店↓神

戸商科大学研究室平井泰太郎 便箋(封筒付) 一綴 一〇七一

(古文書代金領収書) 昭和一〇年六月一八日 村井和本店↓神戸商

科大学経営学研究室平井泰太郎 葉書 一通 一〇七一

(古文書付け札) (昭和一〇年頃) 紙札 二点 一〇七一三

古文書錦絵和本目録 第二八号 昭和一〇年六月一〇日発行 村井和

本店↓ 印刷物 一冊 一〇七一四

播磨屋中井兩替店記錄目錄

播磨屋中井兩替店記錄目錄目次

日 記

.....

五

頁

帳 簿

.....

三



播磨屋中井兩替店記錄目錄

日記

日記 三番 安永八・九・一〇	美	一冊	一	貳番兩替方日記 文化二五(文政元・二)	美	一冊	一六
日記 四番 天明元・二	美	一冊	二	改拾九番日記 文政三	美	一冊	一五
日記 五番 天明三・四	美	一冊	三	改廿壹番日記 文政五	美	一冊	一四
七番日記 天明六・七	美	一冊	四	改廿貳番日記 文政六	美	一冊	一三
八番日記 天明七・八	美	一冊	五	改廿三番日記 文政七	美	一冊	一二
拾貳番日記 寬政七・八	美	一冊	六	改廿四番日記 文政八	美	一冊	一一
十四番日記 寬政一〇・一一	美	一冊	七	四番兩替方日記 文政一〇・一一・一二・一三	美	一冊	一〇
改四番日記 文化二	美	一冊	八	改廿八番日記 文政一一	美	一冊	〇九
改五番日記 文化三	美	一冊	九	改廿九番日記 文政一二	美	一冊	〇八
改六番日記 文化四	美	一冊	〇	改三拾一番日記 天保三	美	一冊	〇七
改八番日記 文化六	美	一冊	二	改三拾三番日記 天保五	美	一冊	〇六
改九番日記 文化七	美	一冊	三	改三拾七番日記 天保九	美	一冊	〇五
改拾番日記 文化八	美	一冊	三	改三拾八番日記 天保一〇	美	一冊	〇四
改拾壹番日記 文化九	美	一冊	三	改三拾九番日記 天保一一	美	一冊	〇三
改拾貳番日記 文化一〇	美	一冊	四	改四拾番日記 天保一二	美	一冊	〇二
改拾六番日記 文化一四	美	一冊	五	改四拾壹番日記 天保一三	美	一冊	〇一
改拾七番日記 文化一五	美	一冊	六	改四拾貳番日記 天保一四	美	一冊	〇〇
			七	改四拾三番日記 天保一五	美	一冊	九
				改四拾五番日記 弘化三	美	一冊	八
				改四拾六番日記 弘化四	美	一冊	七

改四拾七番日記 弘化五(嘉永元)

美 一冊 三

改七拾番日記 明治四

美 一冊 六

改四拾八番日記 嘉永二

美 一冊 元

改七拾壹番日記 明治五

美 一冊 六

改四拾九番日記 嘉永三

美 一冊 四

改七拾貳番日記 明治六

美 一冊 三

改五拾壹番日記 嘉永五

美 一冊 四

改七拾三番日記 明治七

美 一冊 三

改五拾貳番日記 嘉永六

美 一冊 四

改七拾四番日記 明治八

美 一冊 四

改五拾三番日記 嘉永七(安政元)

美 一冊 四

改七拾五番日記 明治九

美 一冊 五

改五拾四番日記 安政二

美 一冊 四

改七拾六番日記 明治一〇

美 一冊 六

改五拾五番日記 安政三

美 一冊 四

改七拾七番日記 明治一

美 一冊 七

改五拾六番日記 安政四

美 一冊 四

改七拾八番日記 明治二

美 一冊 七

改五拾七番日記 安政五

美 一冊 四

改七拾九番日記 明治三

美 一冊 七

改五拾八番日記 安政六

美 一冊 四

改八拾壹番日記 明治一五

美 一冊 七

改五拾九番日記 安政七(萬延元)

美 一冊 四

改八拾貳番日記 明治一六

美 一冊 七

兩替方九番日記 安政七(慶應四)(明治元)

美 一冊 五

改八拾三番日記 明治一七

美 一冊 七

改六拾番日記 萬延二

美 一冊 五

改八拾四番日記 明治一八

美 一冊 七

改六拾貳番日記 文久三

美 一冊 五

改八拾五番日記 明治一九

美 一冊 七

改六拾三番日記 文久四(元治元)

美 一冊 五

改八拾六番日記 明治二〇

美 一冊 七

改六拾四番日記 元治二(慶應元)

美 一冊 五

改八拾七番日記 明治二一

美 一冊 七

改六拾五番日記 慶應二

美 一冊 五

改八拾八番日記 明治二二

美 一冊 七

改六拾六番日記 慶應三

美 一冊 五

改九拾壹番日記 明治二五

美 一冊 七

改六拾七番日記 慶應四(明治元)

美 一冊 五

改九拾貳番日記 明治二六

美 一冊 七

改六拾八番日記 明治一

美 一冊 五

改九拾參番日記 明治二七

美 一冊 八

改六拾九番日記 明治三

美 一冊 五

改九拾四番日記 明治二八

美 一冊 八

改九拾五番日記 明治二九 美 一冊 三  
 改九拾六番日記 明治三〇 美 一冊 三

帳簿

平井新田諸事控 文久三—明治七 半 一冊 六

諸事控 壹番 明治一六—二〇 美 一冊 五

諸事控 明治二六—二九 美 一冊 六

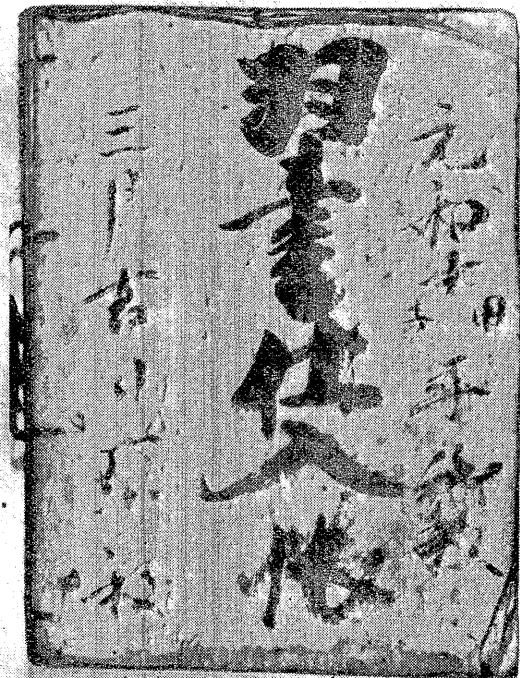
永代帳 (抱屋鋪一件・祝儀事一件・佛事一件・  
 永代押切所・御屋鋪方一件・通用金銀吹替一件・  
 雜事之一件・中井氏之系圖・御屋敷様方用向貳  
 番) 享保一四—天明八 橫長美半 一冊 七

萬出入日記 寛政二— 紙頁 二—八五枚 一冊 六

富山家の「大福帳」 元和十年（表紙）



同上 裏表紙



（原寸 縦二六糎・横一九糎）

## 伊勢國射和村富山家文書解題

### 射和村と富山家

本文書の原所蔵者富山家<sup>トミヤマ</sup>は、伊勢國飯野郡射和村<sup>イザワ</sup>（現三重縣飯南郡射和村大字射和）の豪家で、江戸時代の初期から三都に活躍した伊勢商人として著名な家柄である。

射和村は松阪の南二里餘、榊田川の左岸に沿ひ紀伊熊野街道に當り、川を隔て、相可町と相對する地であるが、明曆二年の序ある「勢陽雜記」によれば、「人家五百軒、商民往來繁、輕粉土地之名物云々」とあり、村高六百一石八斗七升、支配は慶長・元和の九鬼氏時代から一貫して志州鳥羽藩の領地であつた。鳥羽藩は十五万石、藩主は寛永十年九鬼氏移封の後内藤・土井・松平・板倉の諸侯を経て、享保十年稻垣氏が野州烏山から轉封し來り爾後明治四年廢藩まで續いた。射和村自體は耕地も多からず、白粉（輕粉）の外特産物もなく、元祿・享保度數回の大火の厄災に罹り、戸口も漸次減じて昔日の面影ない小村となつたが、この地は、中世既に附近の丹生の水銀を求むる都の商賈が來往した地であり、近世も早くから富山・家城・長井・札野・竹川等伊勢の富豪の淵叢の地として、商業史上に其の名を知られた處であつた。

富山家はその系圖并に家傳によれば、先祖は室町の幕臣畠山氏に出で、右衛門佐義就の三男義持といふが父の遺命により姓を富山に改め文安四年勢州に下り射和の地に定住したのを始祖とする。その後は土豪としての存在か、伊勢國司北畠氏の配下にあつたか、織田信長の北畠を

滅した時一族中討死するものも出て家道衰へたので、四代榮重は子榮弘を伴い天正十三年關東に下り相州小田原北條氏の城下に於て商人となり、後開府間もない江戸に移つたと云ふ。江戸草創期の伊勢商人進出徑路の一例であらう。榮重の末弟家定（與三兵衛淨春）は射和にあつて宗家を嗣ぐ、これが五世中興の主となり、爾後

6 定次（淨蓮）——7 定弘（淨閑）——8 定恒（淨信）——9 定昌（淨山）——10 定富（淨礎）——11 定歡（淨入）——12 定恒（淨了）——  
13 定豪（淨英）——14 弘晟（淨安）——15 某（淨最）

十五代に亘り代々長左衛門又は與三兵衛を名乗るを本家とし、喜左衛門家、伊左衛門家、はじめ八左衛門、九左衛門等を名乗る同族連家あり、外は三井・伊豆倉・家城・竹川等と婚を結び豪家の威容全きものがあつた。

商家としての富山家はその初期の実體は詳かでないが、既に元和頃には金融業者として大をなし、射和羽書（紙幣）をその名に於て發行してゐた記録がある。又紀州家其他への貸附もあり、その蓄積は巨額に達してゐた。この資本を基礎に三都に於ける呉服業に發展したので、大黒屋の屋號を以て寛文三年江戸本町二丁目店の開設をはじめ、翌四年京都室町店、元祿十二年大阪高麗橋一丁目店、寶永六年同二丁目店と續いて進出、また上州藤岡には元祿初年から仕入店を持つた。一方當時の呉服業と密接な關係ある兩替業に於ても早く呉服店の一部に於て之を營み、元祿・寶永の頃には甲府宰相家の御爲替御用を承り、京阪に於ては喜右衛門名前で兩替店を營んだ。更に享保十年には御爲替十人組の株を讓受け、幕府公金爲替の取扱に参加するに至つた。

しかしかゝる富山の商家としての發展は、享保期を頂點としてその後は漸く不振沈滞の悲況に陥つたらしく、兩替店は明和二年には御爲替御用退役を願出た。鳥羽藩はじめ紀州家・井伊家・土州藩等の御用達も實績としては結局この衰運に拍車を加える以外のものではなく、遂にこ

の名家も安永以後は負債山積して、文化五年には分散整理の止むなきに立至つた。射和にあつた富山本家の居宅は八ツ棟造りの豪華なもので俚謡にも謳はれた有名のものであつたが、明治初年小学校に轉用され、明治末年までその特異な姿を留めたが今はない。菩提寺伊藤寺に残る巨碑と本文書のみが僅かに會ての豪家の面影を偲ぶ史料である。

## 文書の内容

本文書の總數九六七點は量的には決して多いとはしないが、従つて又内容的にも或は史料の連続性を缺く恨みはあるが、質的には近世商業文書として最も古い時代の帳簿をはじめ數多の貴重なる史料を含んでゐる點で重要視すべきものがある。今その二三を指摘しておく。

先づ擧げられるのは商業帳簿の類で、特に元和十年「大福帳」元和二年「足利帳」などは本邦に於て現在知られてゐる商業帳簿のうち最も古いものに屬す。(寫眞参照)之に續く萬治・寛文・延寶・貞享頃の惣算用目録に於ける決算様式は後の享保・寶曆・安永頃の勘定目録と對比して商益の實績を知ると共に簿記學的にも興味があらうし、享保・延享度の「京代口物相場付」に記載された呉服商品名と其價格も亦研究の好資料であらう。また是等記録帳簿并文書を通して所謂江戸店持タナテの伊勢商人の經營組織がうかがはれるし、また當時既に大資本の有利性に着目して家族資本の結合と維持をはかり、獨特な匿名組合的な家族組合をもつて大元方を組織した事實も亦家の相續に關する遺書等の文書に之を求めることが出來て、三井家其他の事例に又一を加へるものあるを知る。

其他封建領主との關係を示すもの鳥羽藩との交渉が主位を占めるは當然だが、御用達を勤めた土州藩、紀州・彦根各藩のものもある。寺社寄進の關係文書の多いことも特色である。富山家没落の一因にも見られやうか。文雅關係の中には有名な元暦本萬葉集が會て富山家に所藏されたこと、之が靈元上皇乙夜の覽に具えられた經緯を明かにする重要史料がある。繪圖類は乏しいが享保頃の江戸本町附近圖は富山・釘拔三

井等の商家名の書入れがあり珍しい。

以上文書の注目すべきもの二三を擧げるに止めるが、之を要するに本文書はその量はともあれ、質に於て近世商業史研究上看過することを許されぬものであることは確言して憚らぬ。

附言 本文書は故三井高堅氏の蒐集に係り従來三井文庫に收藏されてゐたもので、今は史料館に移管されてゐる。



## 武州川越町横田家文書解題

### 川越藩と横田家

本文書の原所藏者横田家は武州川越藩の御用商人として知られた富商であつた。横田氏が何時頃から川越に於て商業活動を始めたかは明らかでない。家傳を記した「横田家始祖之由緒」に依るも「横田氏之先祖者昔紀州より來りて河越の住民となる。元來由緒ある人なれども永く商家となりて云々」とあるばかりで具體的のことは判明しない。川越草分の町人と云ふではなかつたが、既に享保の末頃には相當活潑な商業活動をし恐らく地主的金融業者として營んでゐたものと推察される。元文三年の當主次郎吉の代に持高二十二石九斗八升（大部分は他村への出作）、家族五人、下男二人、下女二人とあり、外に店借傳兵衛と其家族が下男を含めて五人との記載があるのを見、また享保十九年以降の田畑屋敷賣買證文の多いことも其一面を示すものと思はれる。明和四年には大屋敷村四郎治から酒株拾六石六斗餘を讓受けて居り、又酒屋と共に醬油店も營んでゐたので、且是等は相當に手廣く商ひ松山其他の地にも出店を持つてゐた。かくて川越城下に於ける最も富裕なる商家の一と目されるに至つて、町年寄として町政に參與すると共に、寛政三年川越藩の御用達を仰付けられた。當時川越藩は松平大和守の所領十六萬石、此の地は關内の要地として幕府は特に勲功親故の家を以て此處に封じたので、松平氏は明和四年、前藩主秋元氏が羽州山形に轉封の後を承けて大和守朝矩が藩侯となり、後七代を重ねて文久三年上州前橋に移るまで其支配が續いたのである。

爾來横田家は次郎吉・五郎兵衛を當主名として、享和・文化・文政・天保と引續き御用達として藩と密接なる關係をもつと共に、數々の殊

遇をうけた。即ち「扶持并被下物目録」から摘記すれば

一、寛政三亥年十月御用達被仰付町年寄格并苗字他出之節帯刀御免

一、同四子年高三拾石被下置

一、同十二酉年十一月七拾石御加恩

一、享和三亥年九月御大用に付百石御加恩、大役人格在方取締被仰付

一、文化十三年御大用に付尙又百石御加恩

一、文政二卯年十一月士格御取立之上二百石御加恩、合被下知行五百石

一、文政四巳年四月知行五百石御判物頂載

其他御紋付肩衣小袖、銀子等の頂戴は例年のことである。勿論かゝる殊遇と對應して藩財政との結びは緊密となる。文化九年から天保十五年迄の横田家の「出金高調帳」に據れば、川越藩への調達金額は川越表出金が三萬貳千貳百九十五兩餘、江府出金高が貳萬貳千貳百餘兩、計五萬四千四百九拾五兩の多額に及んで居り、このため藩の藏米の處理は横田に委任せられるなど藩財政の實權をその手中に握つた。

しかし既に当時の川越藩の財政は積年の赤字に悩みつゝあつたところ、その危機は當然之を支えた横田家の危機にまで進展する。即ち藩のために横田家が奔走してその名義で江戸の三井組から借入れた上野御門跡の名目金等が弘化期には返済不能となり、江戸に於ける横田家の持地持屋數十四ヶ所の賣却代金壹萬三千兩餘、野田村田畑二町二反餘を投入するも及ばず、破綻は致命的になつた。かくて幕末に於ける横田家は藩に對しその窮乏を屢々訴へ、拜借金を歎願、上納金の延期の申入を繰返すが空しく、文久三年松平侯は前橋に移封、御用商人としての横

田家は遂に没落する封建勢力とその運命を共にしたのであつた。

### 本文書の内容

以上見た如く、横田家は川越藩御用商人として百年餘り活躍したので、こゝに残された文書もこうした商業活動についてのものが中心であり、特色として指摘される。即ち御用達藏米關係のものがそれであるが、その外にも享保十九年以降の家屋敷讓證文三十四通、享保三年以降の田畑讓渡并質地證文七十一通、文化四年以降の店請證文二十八通、明和五年以降の借入金證文三百三十八通、安永五年以降の武家借用證文百四十三通等夥しい數の證書類が残存してゐるのは、家中町在貸金三萬兩と稱した中の一部であらうが、之はまた藩との結びを強化することによつて一段と發展せしめた横田家の商業活動の側面を示すものと見られる。又三井組から借入れた上野御門跡御貸附金・御勘定奉行御貸附所御用金の二口の借入金に關する文書は史料としても比較的纏つて居り、名目金の借入手續・未納督促に關し町奉行の強權發動、又この場合三井組が代理支辨しその債權の肩替したる顛末等の詳細を語るものがあつて、名目金に關する好箇の史料たるを失はない。

附記 本文書も故三井高堅氏の蒐集にかゝり、今史料館の有に歸せるもの。

## 小橋屋平井店文書解題

## 小橋屋の由緒

本文書は大阪に於て最近まで著名な呉服店として知られた小橋屋平井店舊藏の文書記録である。小橋屋平井店の始りは其の家の所傳によれば初代圓清は攝津嶋下郡鵜殿村梶屋清兵衛と云ふ柴薪商賣の家に生れ、幼名三四郎十三才の時から大阪本町二丁目古手商小橋屋四郎右衛門方に奉公したが、享保初年主家の没落するに及んで、獨立して各地古手の買次問屋を營み、苦闘の末遂に塩町四丁目三休橋の角屋敷を買ひ本據とするに至つたが、享保九年の大火に罹災した後は更に店舗を擴げた。爾來次第に商圏も擴大して本家も大阪と京都に構え、夫々仕入、小袖・糸・太物・呉服の店々を營んだ。寛政年間には江戸店を設く、江戸近在は勿論關東諸國から奥州松前迄も古手商を手廣く營む計畫であつた。併しこの江戸店は天保十三年の「儉約仕法内談書」に江戸店引拂と記してあり、その存續期間は短かつたことが知れる。文化十六年塩町三丁目に兩替店を開いた。小橋屋彦九郎名前の本兩替屋である。

かくて京・大阪の二本家の外一族の連家、店出身者の別家も數多く、文化六年の記録によれば廿七軒の別家は四組に分けられ詳しい規約が定められてゐた。また店の規模も御堂前の呉服店が文久三年罹災後の店開きの際百餘人の店員を擁してゐたことによつても察せられよう。この御堂前の平井呉服店は越後屋・大丸等と對峙して近き頃まで大阪有數の呉服店として繁榮を續けた。

## 文書の内容

本文書は元より小橋屋平井店の記録としては極めて一部分のものに過ぎぬが、寶曆頃から明治初年にも亙るもので、斷續的ながら江戸時代の小橋屋の營業經營の大畧を察し得るものがある。就中店仕法・店法度以下店規・店則類は比較的多く、又手代奉公人の處遇、別家制度の規程等には頗る詳細なものがあつて興味が深い。

各營業部門を資本的に統轄する大元方の制度はこゝにも存在したことは認められるが、本文書中にその史料の少いのは惜しまれる。

家傳書としては二代教清の記述に成る「平井前代記」を含む「寛政四年大阪行要用書覺」が注目される。呉服店の引札は自家のものゝ外他店同業者のものも蒐めてあるのは参考にならう。

附記 本文書は故三井高堅氏の蒐集するところ今史料館の所藏に歸す。

## 播磨屋中井兩替店記録解題

## 中井兩替店の沿革

中井家はその先祖は江州水口の出身にして、初代は幼名喜三郎、江戸本革屋町の本兩替屋三谷忠左衛門の店に奉公し、後獨立して正徳四年八月始めて金吹町に居を定め、播磨屋新右門と名乗り兩替業を営んだ。播磨屋の名は新右衛門と書いたのもあるが衛の一字ないのを此の家の通稱とする。また畧して播新とも唱へた。金吹町は現在の中央区日本橋室町三丁目の地、本町二丁目の北に隣り本兩替町・駿河町・本革屋町など江戸の金融センターに近接したところであつた。

周知の如く江戸の兩替屋には金銀兩替のみを取扱ふ少數の本兩替屋と、錢を主とし金銀をも扱ふ小兩替并に錢のみを扱ふ錢屋の三種があつた。後の二者は本兩替に對し脇兩替の稱あり、その數も多かつたが、播新も初めは勿論この脇兩替の一人であつた。舊記中に此播磨屋の名の初見として「兩替年代記」享保四年の項に「脇兩替三組名前書べて五拾八人世利組之内播磨屋新右衛門代久兵衛」とあるを擧げてゐる。また元文二年・寶曆五年改「錢屋商組連判帳」の五組之内日本橋組の部に載す六十人（寶曆六年現在は五十人）の連名中第六番目に「金吹町播磨屋新右門」の名が見られる。開店以來の正徳・享保の間と云へば、正徳新金・乾字金・四寶銀等の新發行に金銀錢の相場が俄かに大變動したことは、江戸時代を通じて幕末の萬延・文久の期を除いて他に其比を見ない時代であつた。播磨屋の開店及び發展はこの商機に乗じたものであらう。そして近江商人獨特の堅實の營業振りに着々地歩を築き信用を高めたことゝ察せられる。遂に文化五年十二月には本兩替屋仲間

加入するに至つた。元來江戸の本兩替屋は大坂のそれに比べて其數は極めて少かつた。文化五年には從來の三井次郎右衛門に、播磨屋、竹原、竹屋、殿村、泉屋の五名が加り六名、爾來明治五年仲間終結に至るまで、この六人乃至四人の少數本兩替仲間の一人として續いたのである。「本兩替屋判形帳」(文政十年—明治五年)に記す各店々員人數の統計をとると、播新は常に手代三四十人を擁して平均人數最も多く、「馬喰町御貸附御用并一橋様其外御代官御掛屋御用」の肩書が示す金融關係の公務も勤めて、公私一般の金融業務は盛業を示してゐた。

維新後兩替屋から銀行への轉換期に際しても播新は中井爲換店として舊兩換商の名残をとめてゐたが、明治十六年六月に始めて私立中井銀行として開業するに至り、やがてその組織も合名會社・株式會社と時代に順應して改め、昭和二年三月財界大恐慌の際までその營業を繼續してゐた。

### 記録の内容

本記録帳簿の大半を占めるものは、安永八年から明治三十年に至る間の八十三冊の店日記である。美濃判每冊約三百枚綴程の平帳で、文化以後の分は畧々一年一冊が宛てられてゐる。其記載事項は營業上の諸記事の外社會記事にも觸れて居り、三井大阪兩替店の日記録に次ぐ克明な記録である。明治十六年中井銀行設立以後の経過記録は「諸事控」二冊があり、之に詳しい。永代帳一冊は中井家傳來の家傳記録である。若しそれ寛政十三年の「萬出入日記」に至つては、美濃二折の横帳鎖綴で紙數二千百八十五枚、厚さ約三尺にも及ぶ超特大のもので、記載の小口分けの總計百七十一口、此の種舊帳簿の最長なるものゝ一標本であらう。

附記 本記録も亦三井高堅氏蒐集にかゝり從來三井文庫收藏のもの、今史料館に存す。

昭和二十九年三月二十五日 印刷  
昭和二十九年三月三十一日 発行

東京都品川区豊町二丁目一、二、三八番地

発行者  
編集者  
史料館

東京都千代田区西神田二丁目一七番地

印刷所  
明治印刷株式会社